

524-755



1200501494147

4  
755

動力粉摺紙試驗  
成績

# Kodak Gray Scale

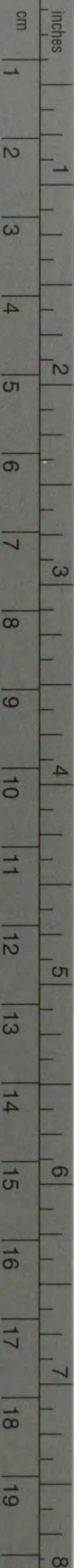
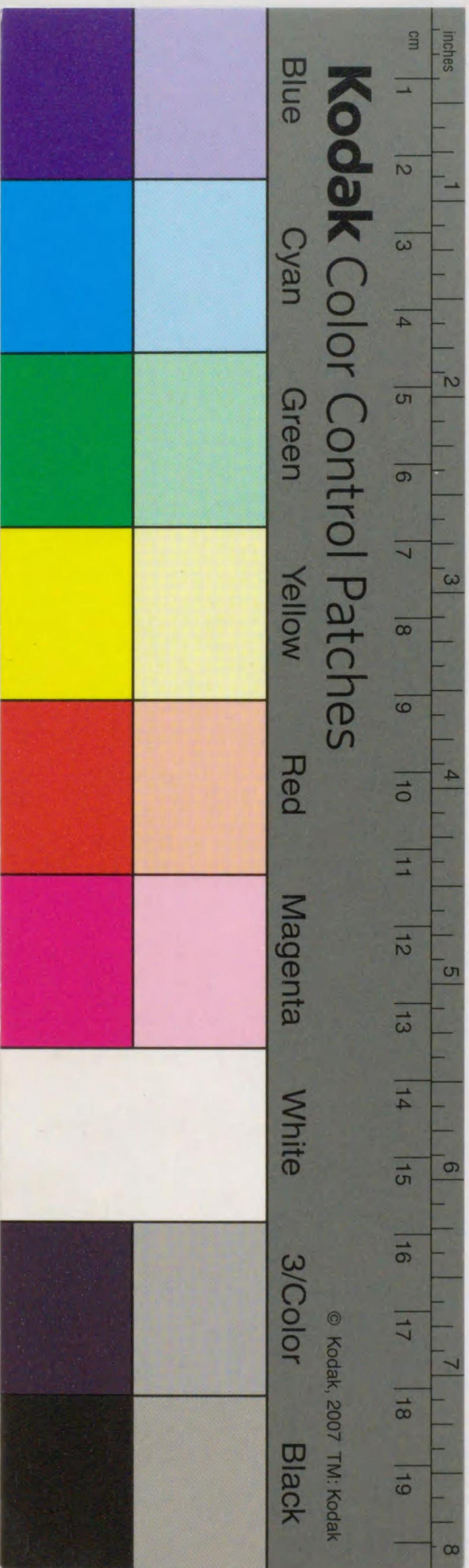
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

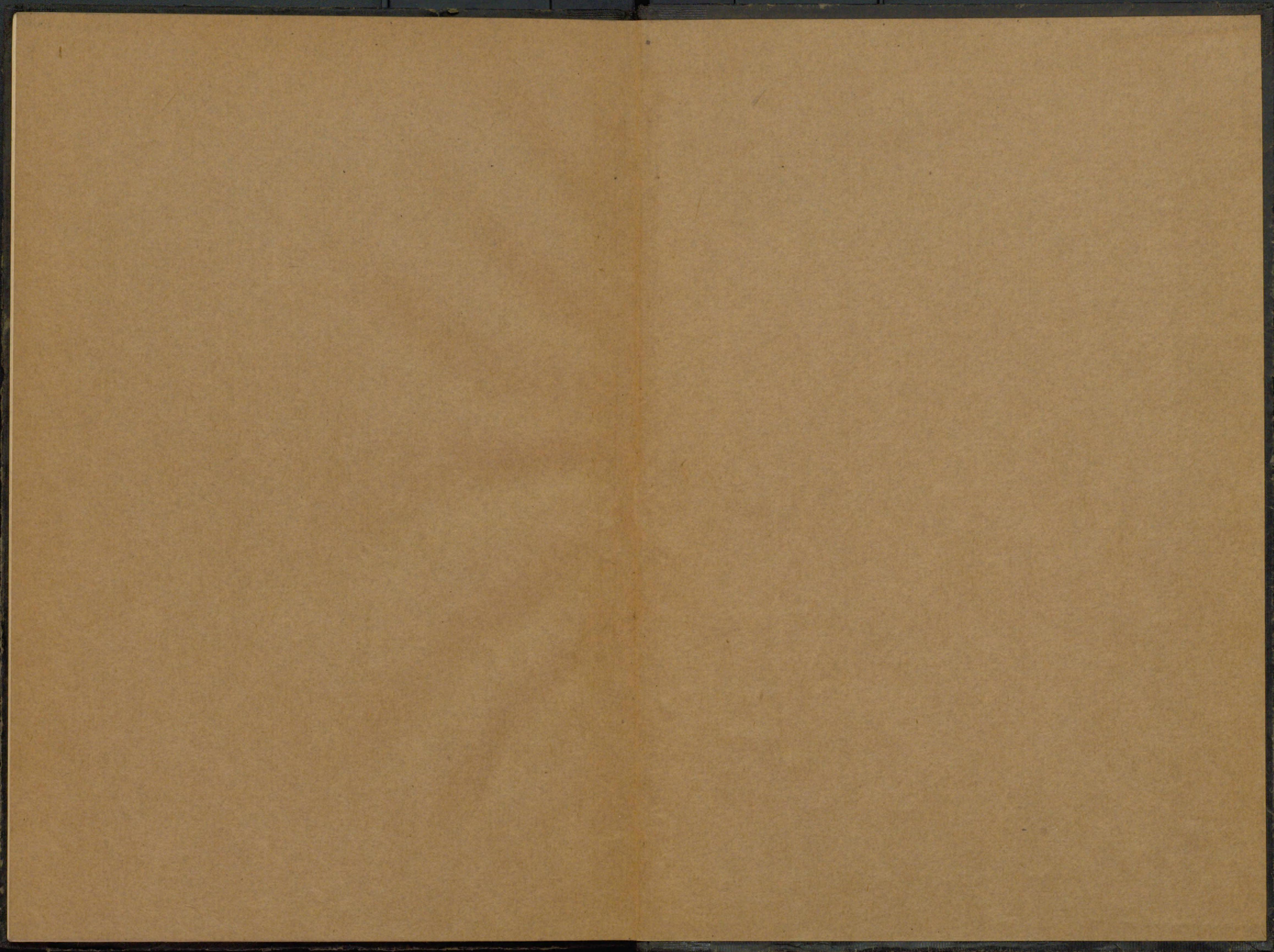
# Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak







昭和二年十二月

動力耩摺機試驗成績

農林省農務局



緒言

動力利用農具中、糶摺機ハ其ノ需要最モ大ナレトモ現時普及シツ、アルモノハ主要部ノ材料、構造等ニ依リ或地方ニ於テ優良ナリト稱セラル、モノモ他地方ニ於テハ却テ不良ノ結果ヲ示スモノ往々アリ、是レ取扱上ノ巧拙如何ニ存スル所ナキヲ保シ難シト雖、糶ノ乾燥ノ良否、品種ノ相違等ニ基因スル所大ナルベシト認めラ  
ル、モノアリ、依テ糶ノ品種及乾燥程度ヲ異ニシタルモノヲ利用シテ、主要部ノ材料及構造等ヲ異ニセル動力糶摺機ノ比較研究ヲ爲シ、其ノ成績ニ鑑ミ、當業者ガ夫々其ノ地方ニ適當ナル種類ノ糶摺機ヲ利用スル場合ノ規準ト爲  
シ農業經營上ニ裨益スル所尠カラザルベキヲ疑ハズ、是ヲ以テ農林省ニ於テハ大正十四年及昭和元年ノ兩年度富山縣立農事試驗場ニ委託シテ之ガ試驗研究ヲ行ハシメタル成績報告ヲ印刷ニ附シ以テ農具ノ改良獎勵ニ關スル資料タラシメムトス。



昭和二年十二月

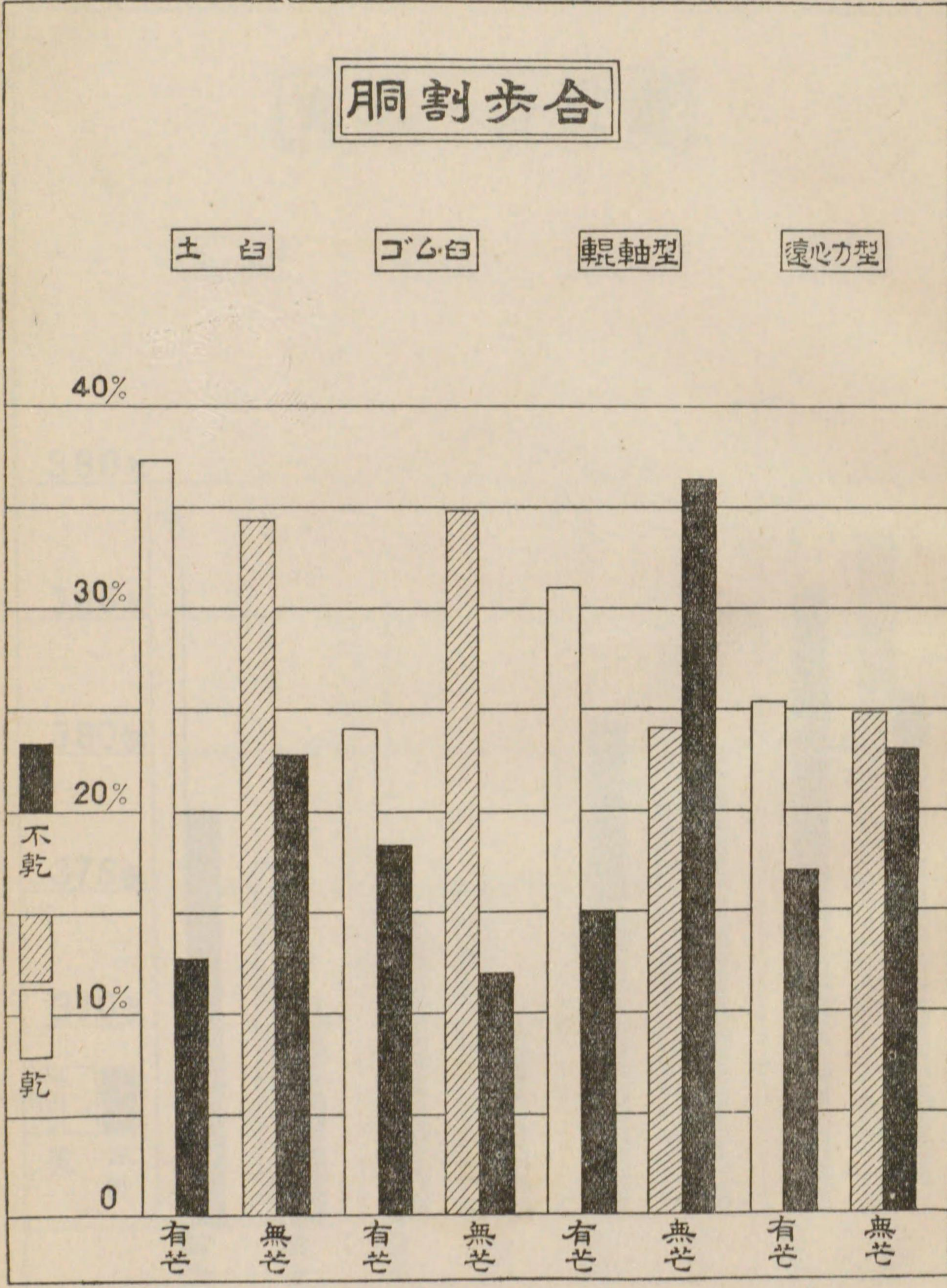
農林省農務局



第一圖

合歩割洞

土白      ゴム白      輾軸型      遠心力型



談言

紙の乾燥は、繊維の水分を除去する過程であり、紙の強度と耐久性に大きく影響する。本図は、異なる製法と繊維の有無による乾燥率の比較を示している。土白紙は、繊維の有無に関わらず、乾燥率が最も高い傾向にある。一方、遠心力型紙は、繊維の有無によって乾燥率が大きく異なることが確認できる。

昭和二十二年八月

製紙工業試験会



第二圖

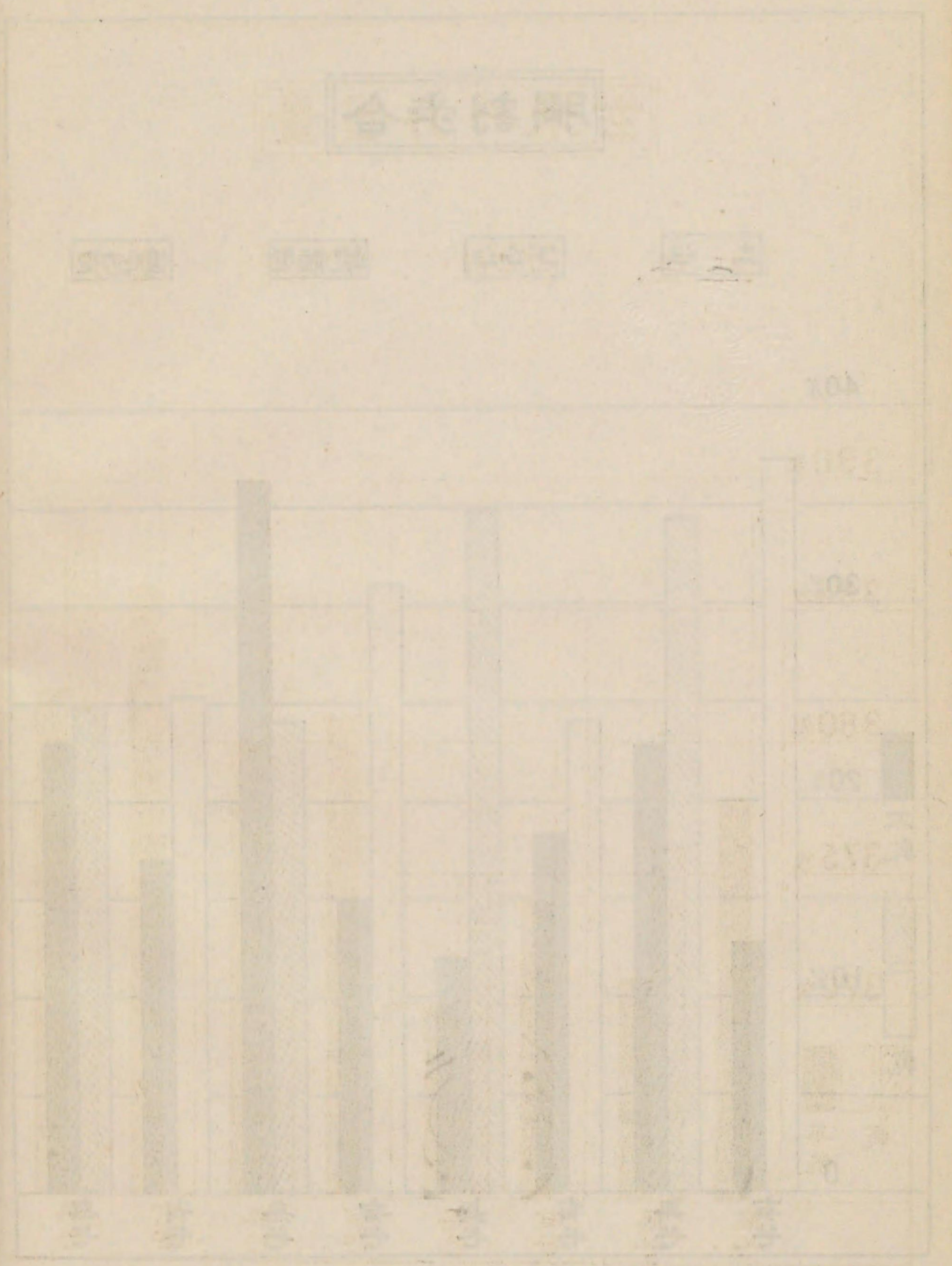
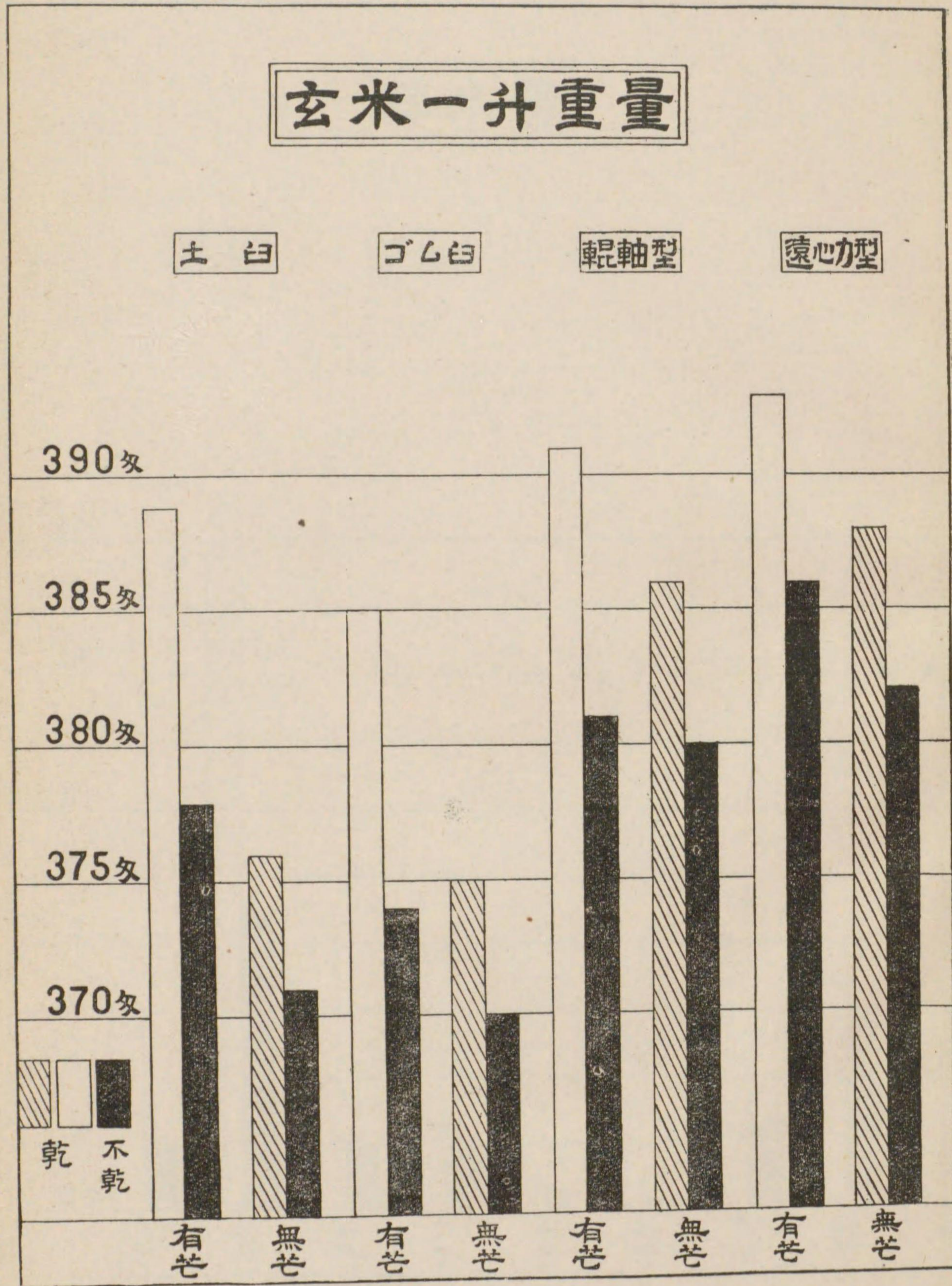
玄米一升重量

土臼

ゴム臼

輥軸型

遠心力型





第三圖

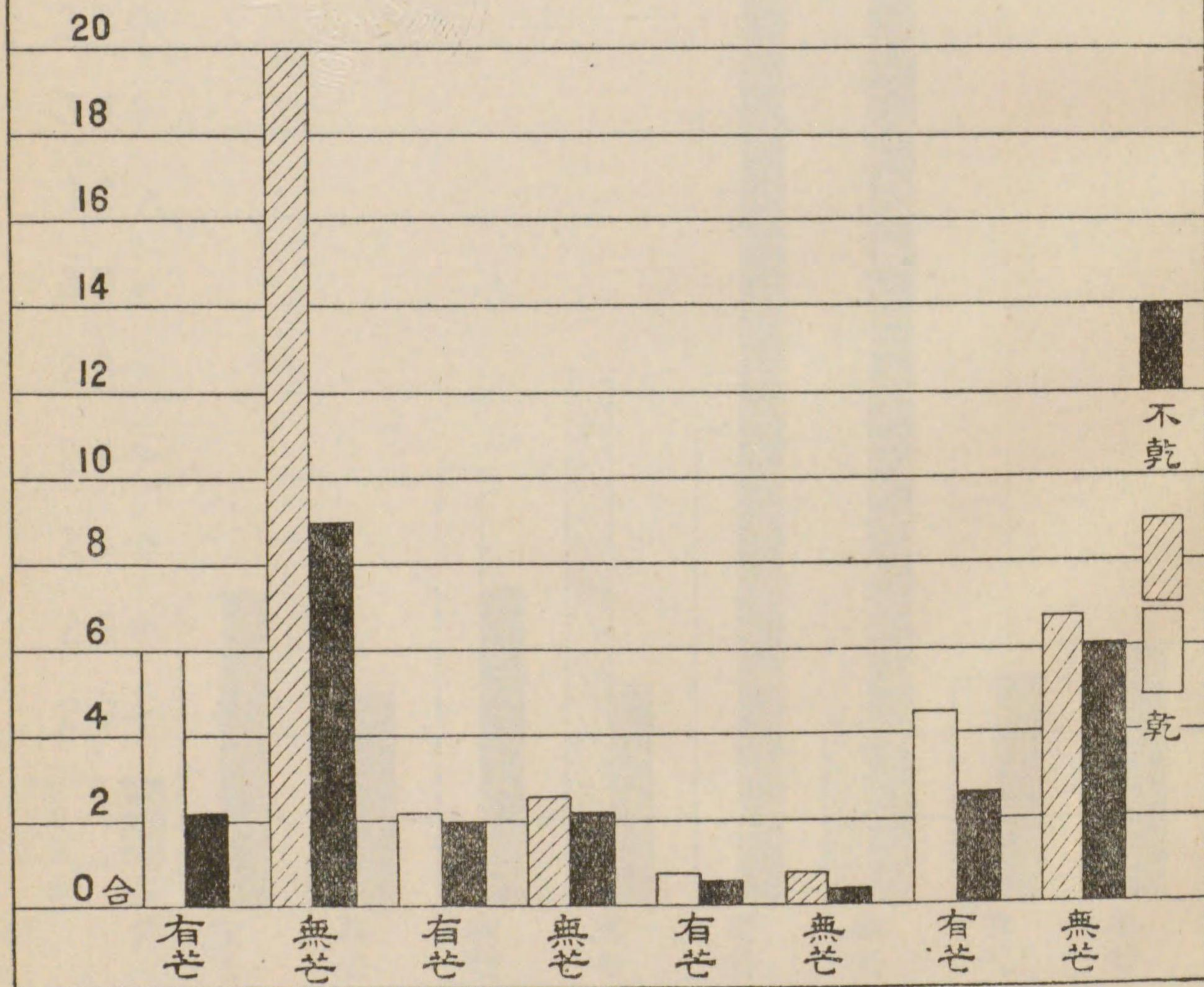
碎米量

土臼

ゴム臼

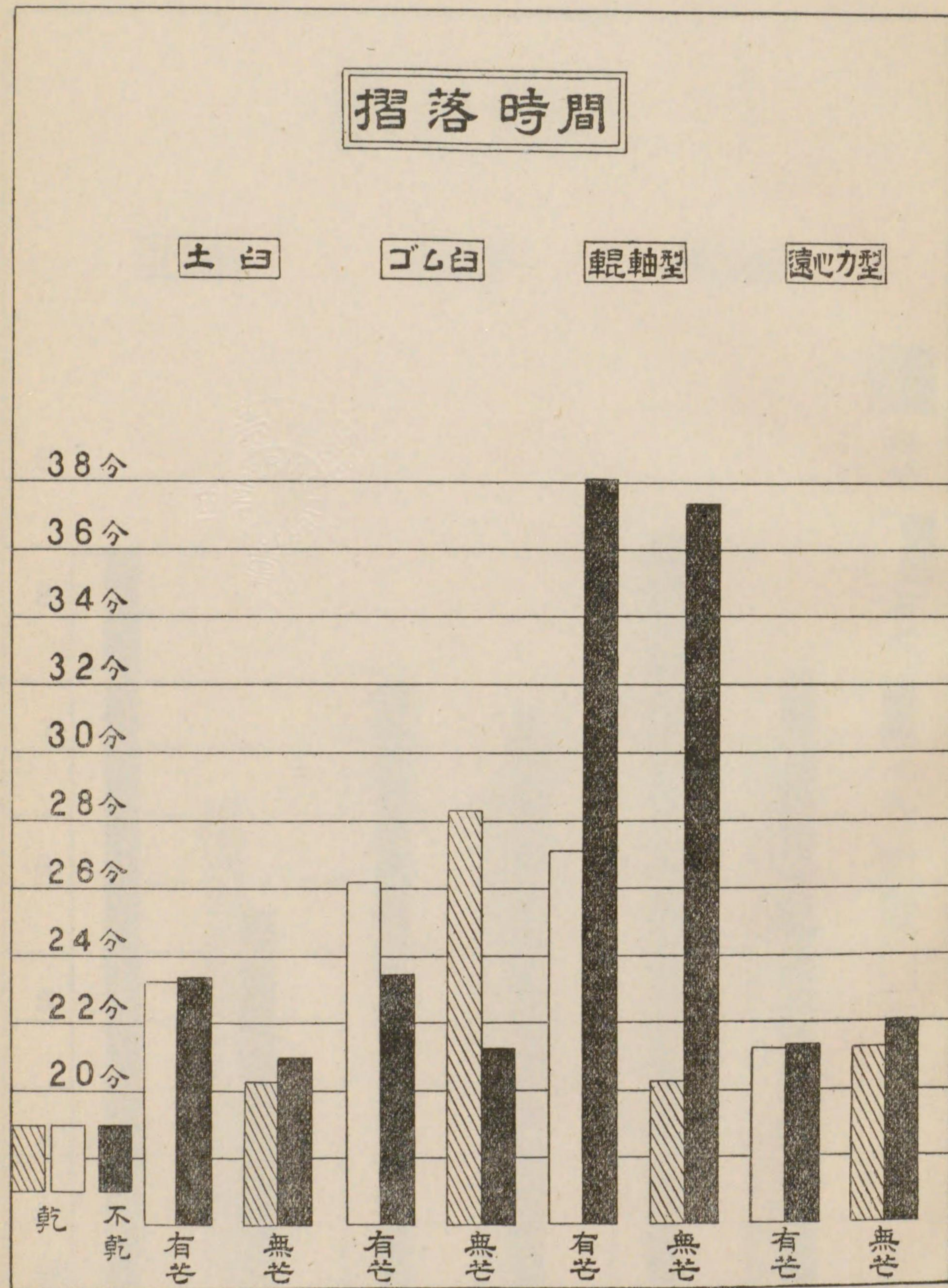
輓軸型

遠心力型





第四圖





第五圖

合步摺粉

白

軸輓型

型力心遠



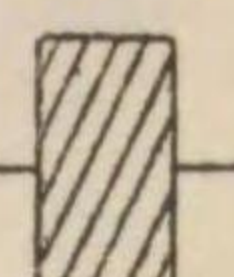
無芒



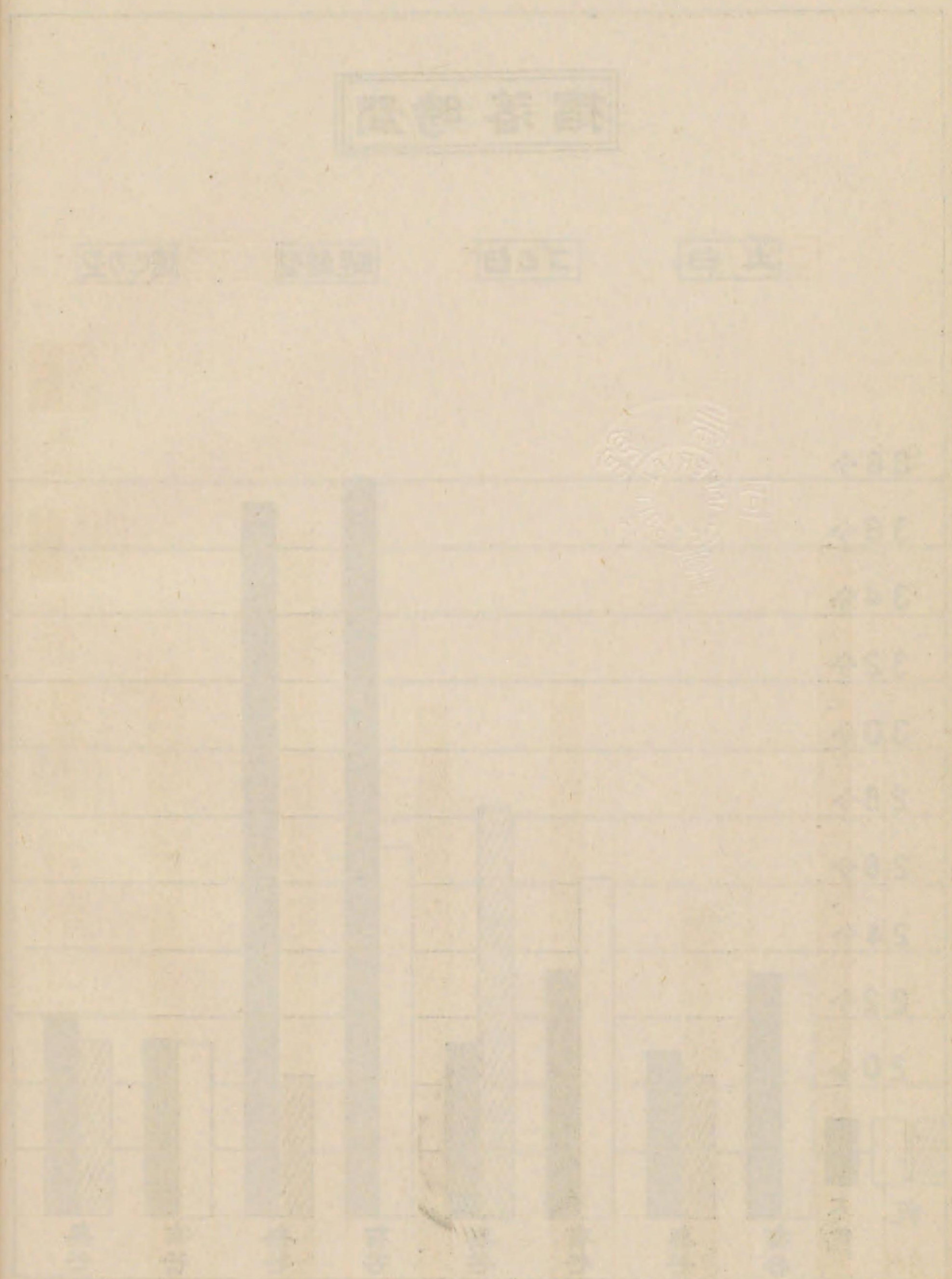
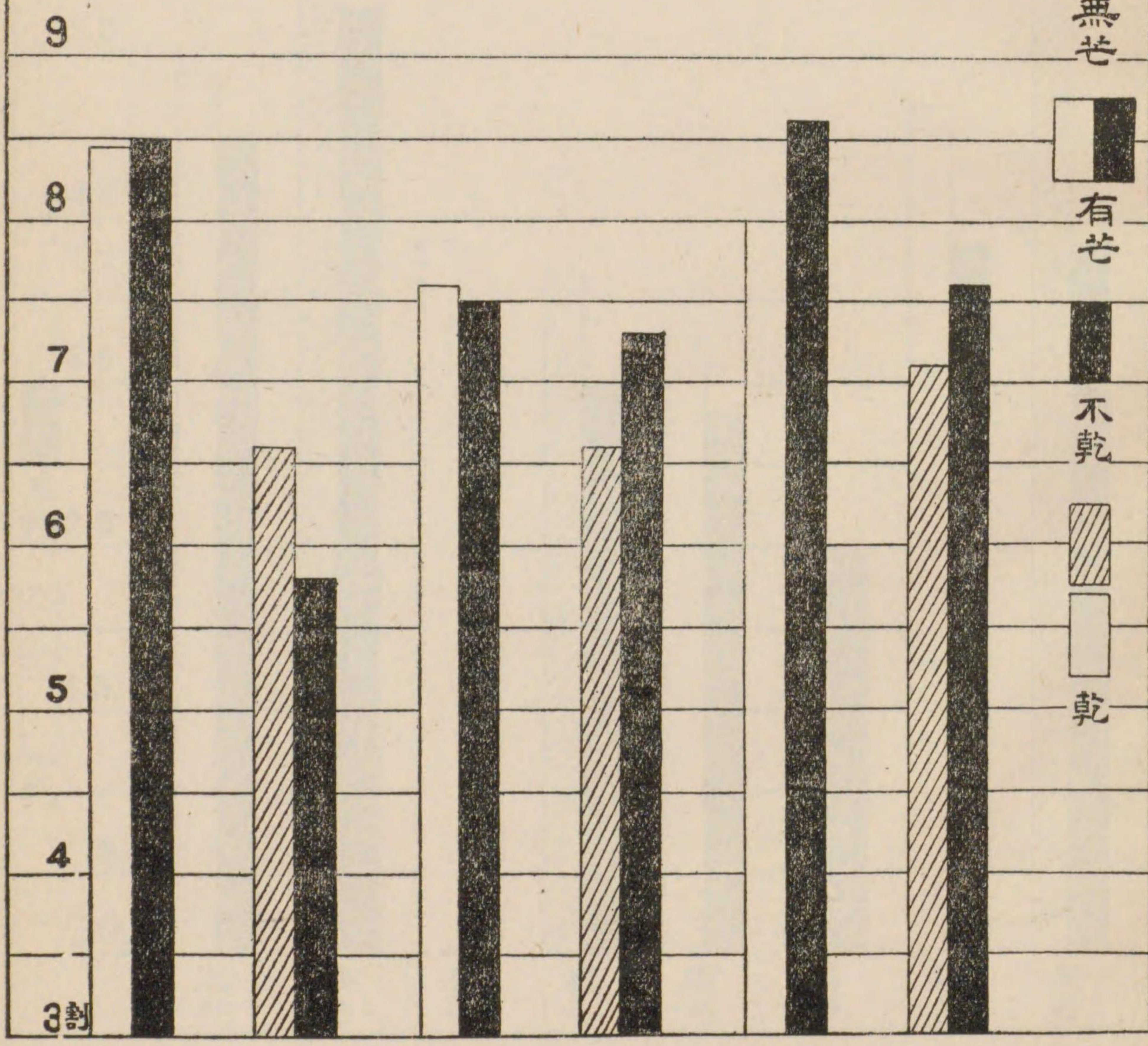
有芒



不乾

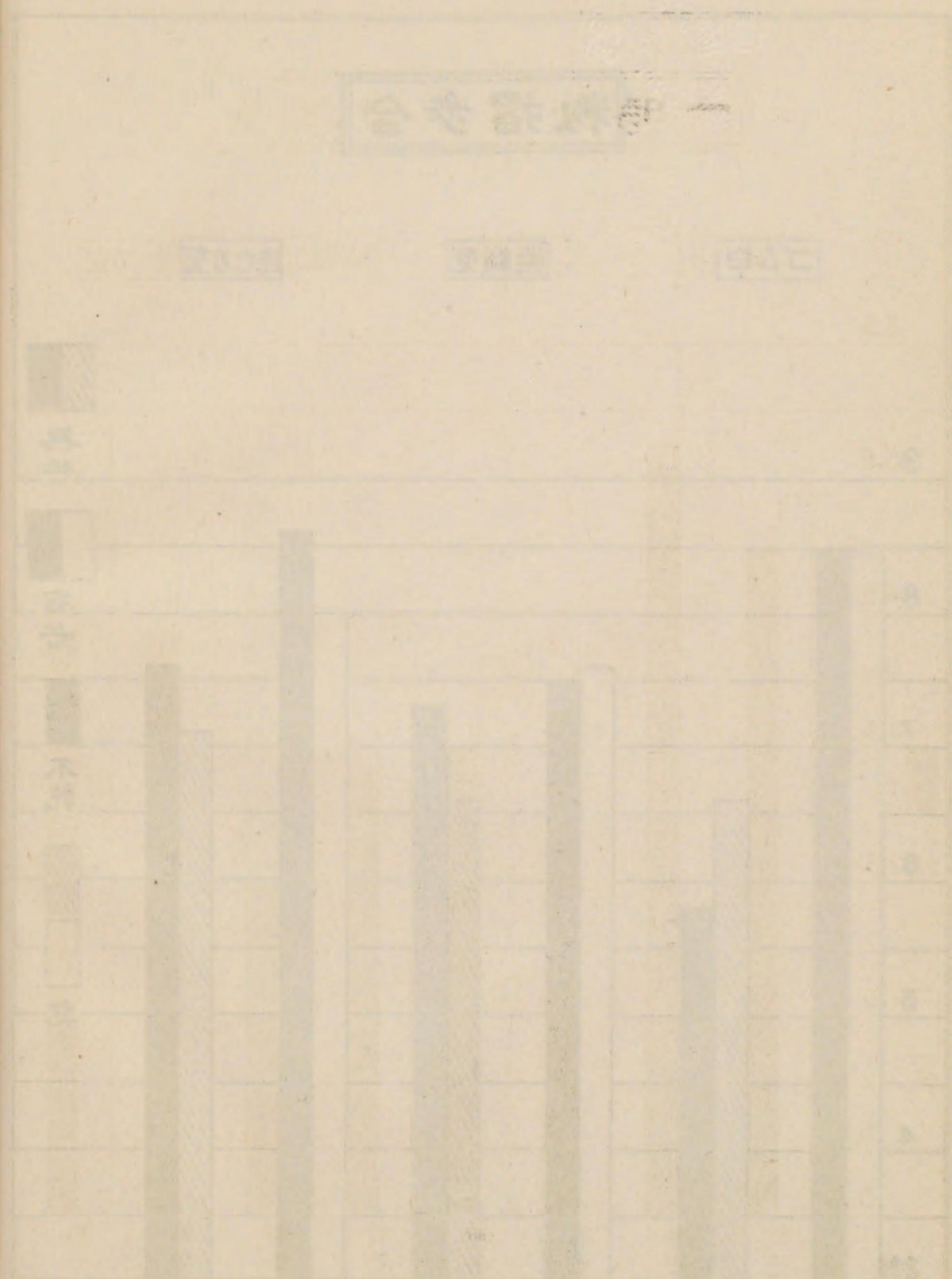
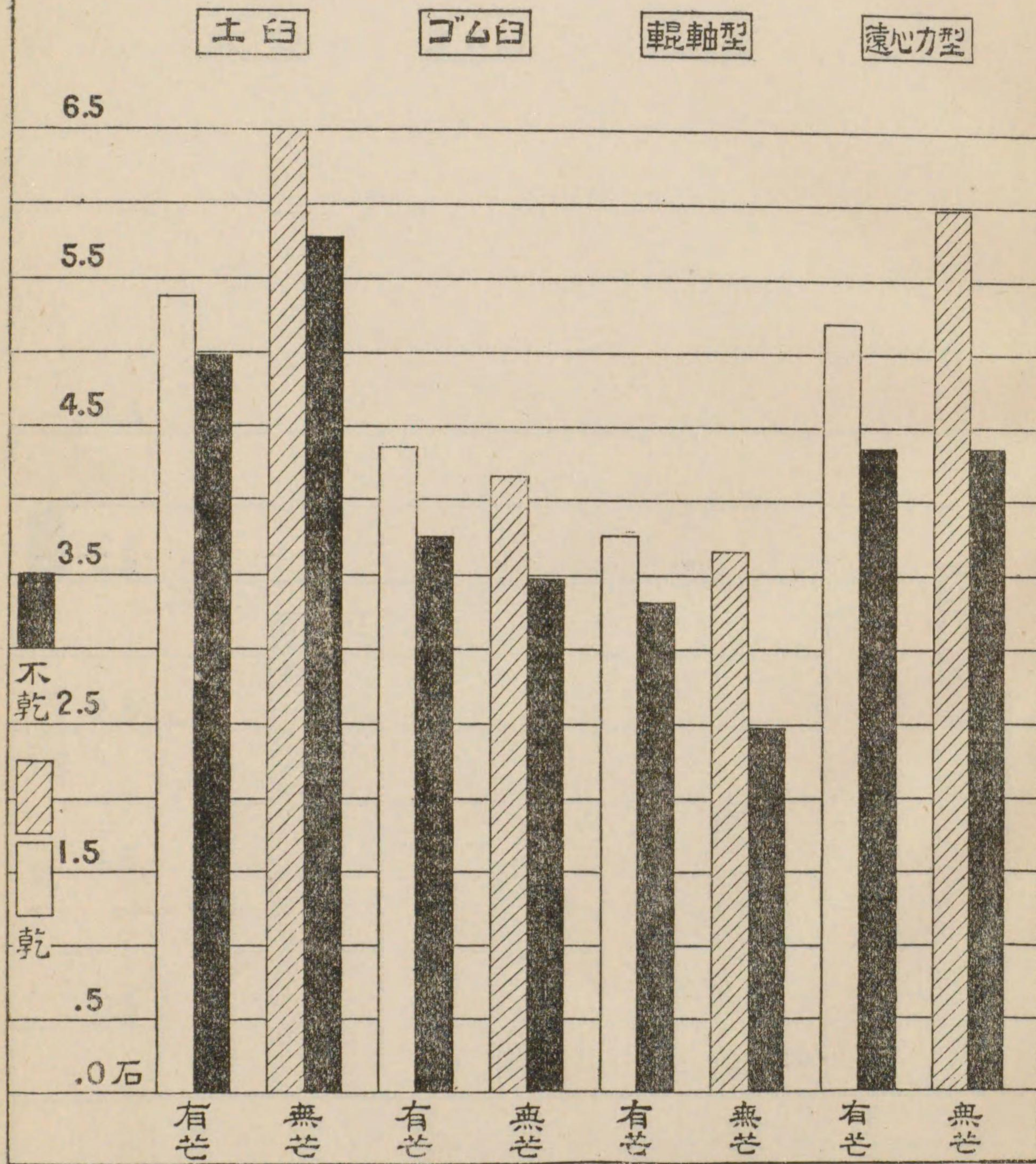


乾





一時間當リ玄米量





第七圖

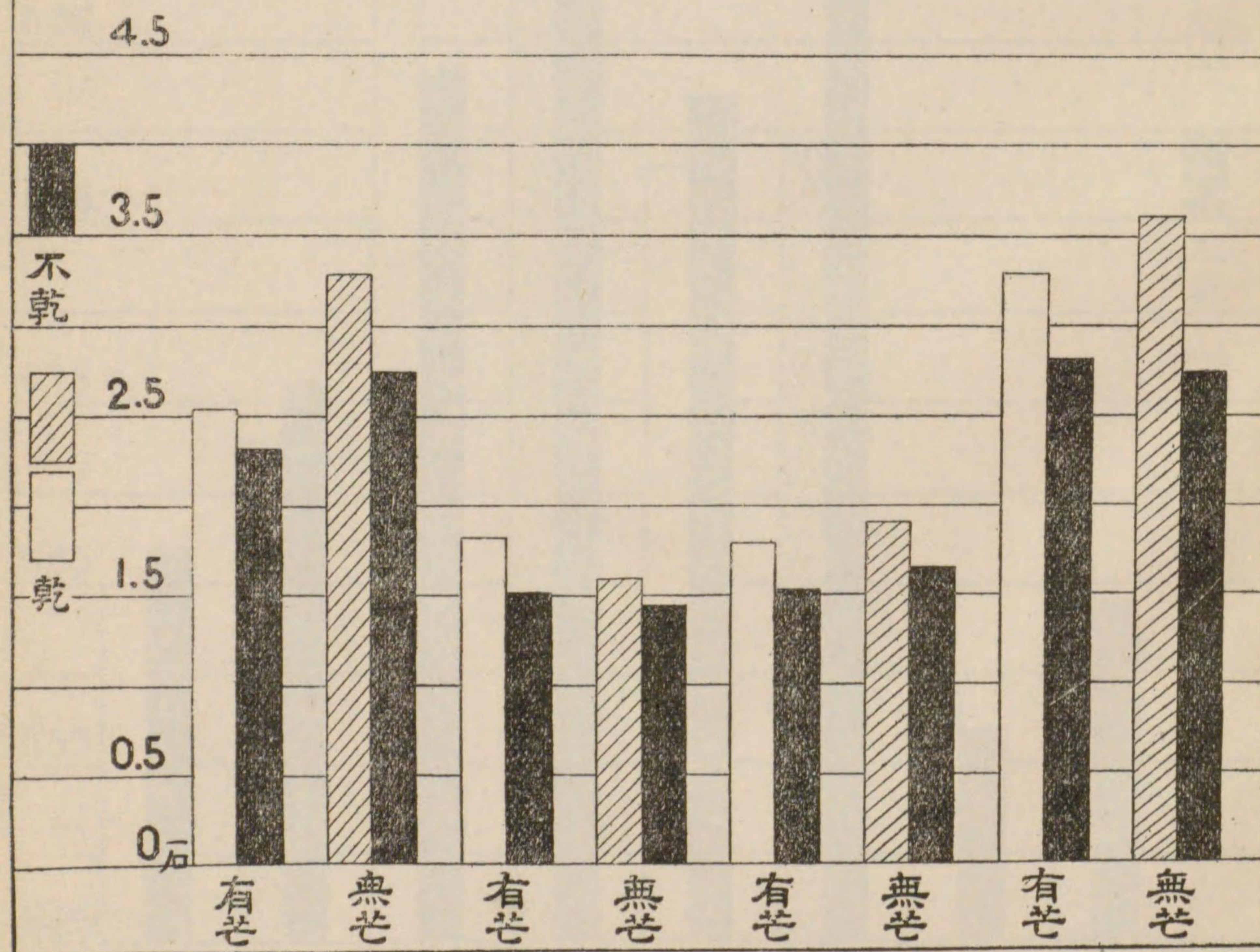
一時間一馬力當り玄米量

土白

ゴム白

輓軸型

遠心力型



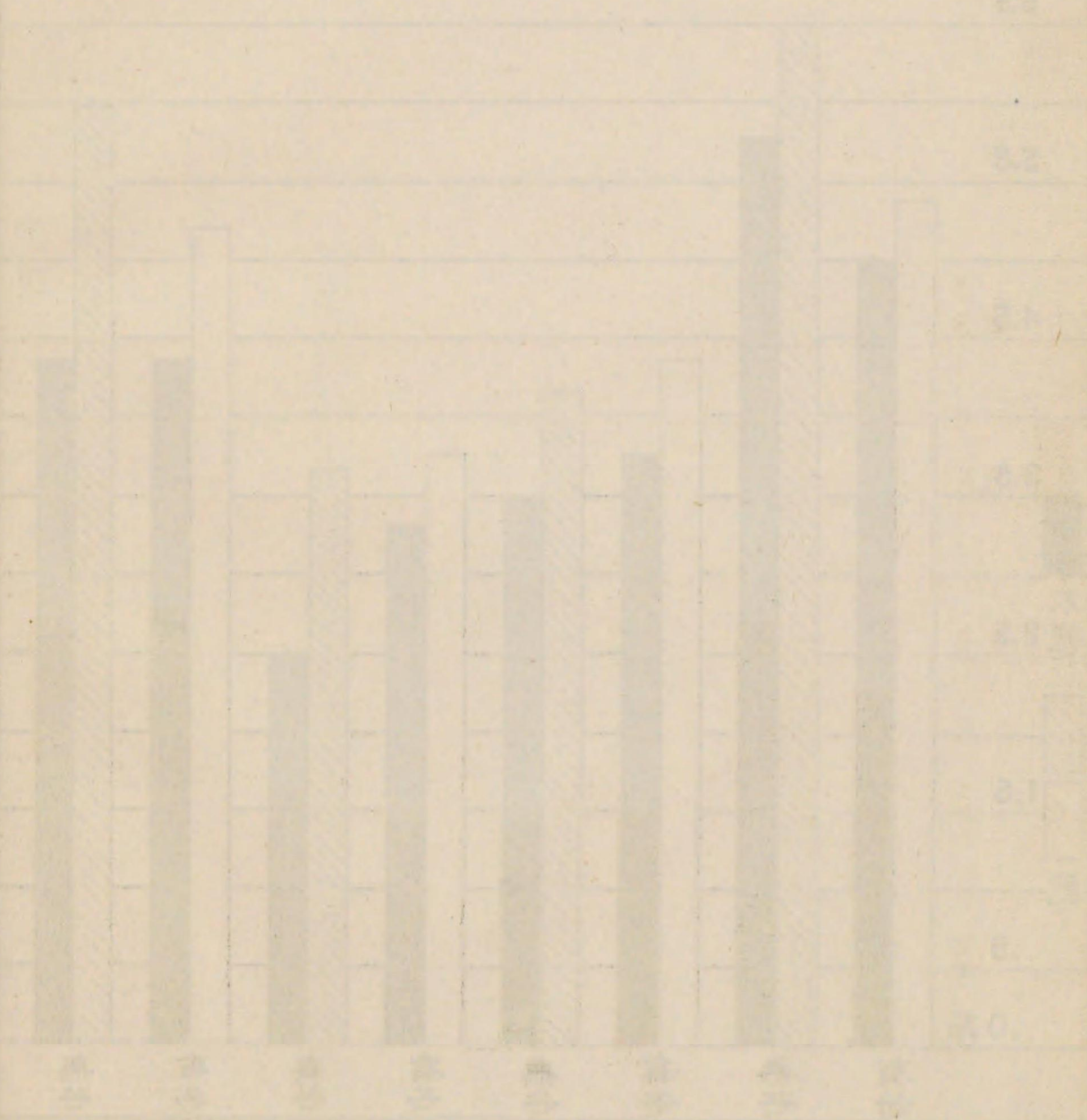
一時間一馬力當り玄米量

土白

ゴム白

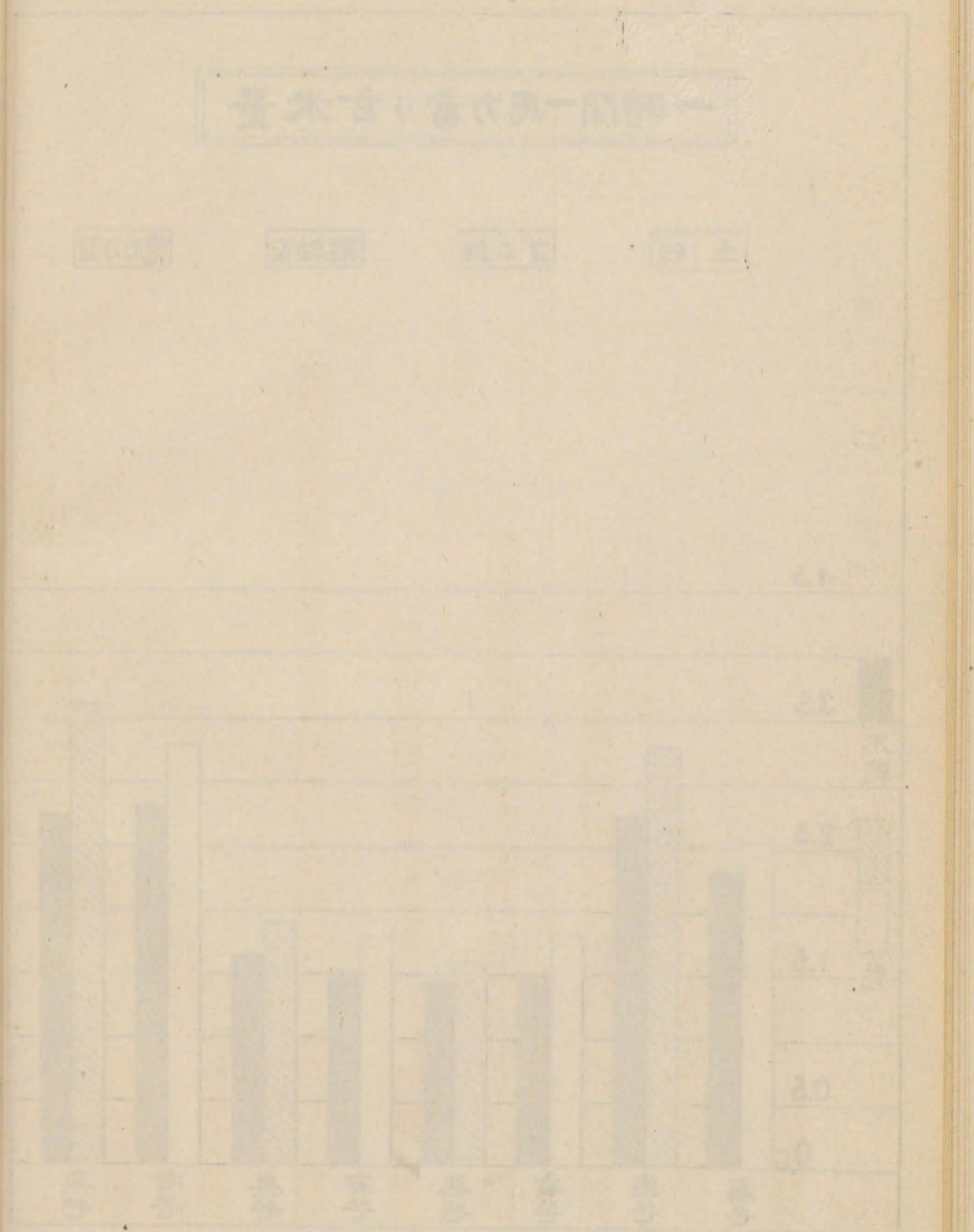
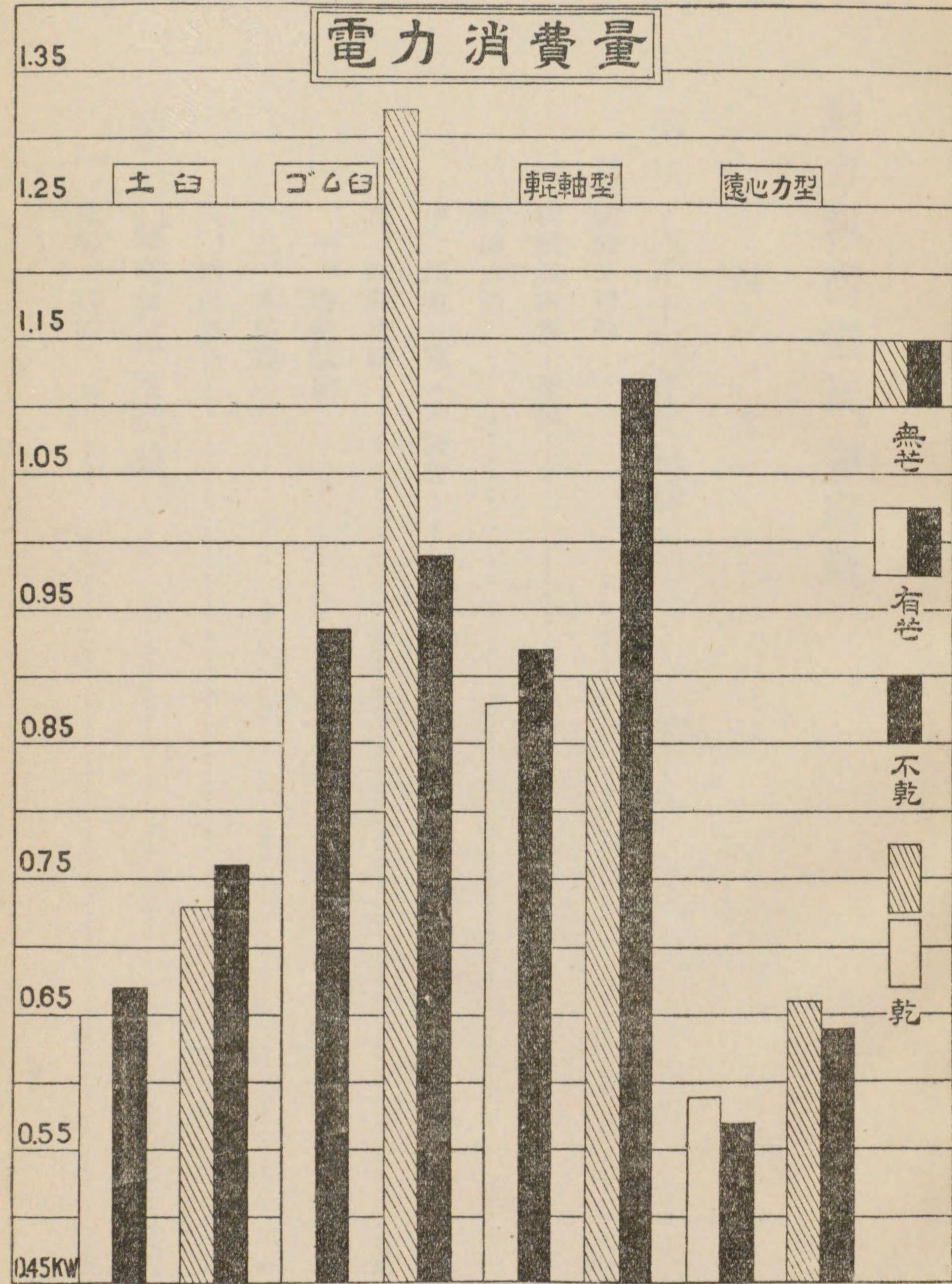
輓軸型

遠心力型





第八圖





# 動力糶摺機試験成績

## 目次

第一、大正十四年度試験	一
一、試験ノ目的	一
二、供試糶摺機ノ種類	一
三、試験方法	一
甲、構造ニ關スル調査	三
乙、試験成績	五
一、豫備試験	六
二、本試験	二一
丙、精白歩合	二九
第二、昭和元年度試験	三五
一、試験ノ目的	三五



二、供試耨摺機ノ種類.....三五

三、試驗方法.....三五

  甲、試驗成績.....三七

    一、豫備試驗.....三七

    二、本試驗.....五三

  乙、精白試驗.....六一

  丙、試驗成績ノ概評.....六五

一、試驗ノ目的.....

二、試驗ノ場所.....

三、試驗ノ時期.....

四、試驗ノ方法.....

五、試驗ノ結果.....

六、試驗ノ概評.....

富山縣立農事試驗場報告

大正十四年度

農林省委託

耨摺機試驗成績

富山縣立農事試驗場報告







種別	大場種		石白種	
	乾燥良好	乾燥不良	乾燥良好	乾燥不良
籾水分含量	13.7%	15.7	13.5	16.4
玄米水分含量	15.2	16.9	14.8	17.6
籾一升重量	28.1	27.5	28.1	27.4
胴割歩合	51.0	48.6	53.9	49.8
剛度	64.6	54.3	68.8	53.6
千粒重	25.4	25.4	23.5	23.8
歩止重量	63.5	56.5	58.0	55.5

本試験ニ供用セル籾ハ其ノ量比較的多キヲ以テ到底當場ニテ同一地味ニ同一栽培法ニヨリテ同一系統ノモノヲ栽培シタル籾ヲ供用スルコト能ハズ止ムヲ得ズ、之レヲ當場附近ノ農家ガ普通ニ栽培セルモノニツキテ得タルガ故ニ其ノ籾ノ系統生産土地ノ地味、生産者ノ栽培法等ニ異リタルモノヲ混淆シタリ從テ比較對照上妥當ナラザルモノアルヲ免レズ

(ロ) 豫備試験

本試験ノ準備トシテ各機ノ能率及作業状態ヲ略同一ナラシムルタメ行フモノニシテ此試験ニ於テハ籾ヲ一石宛各種ノ状態(廻轉數ヲ一割増減シタリ)ニ於テ使用シ一個ノ籾摺機トシテ最モ良好ナル状態ヲ發見セントスルモノナリ

(ハ) 本試験

豫備試験ニ於テ比較的良好ナル成績ヲ擧ゲ得ル廻轉數其ノ他ヲ調整シタル條件ノ下ニ各異ナル機械ヲ長時間(籾四石)比較セントスルモノナリ

(ニ) 利用原動機及籾摺機ノ標準廻轉數

籾摺機ノ名稱	原動機ノ名稱	馬力	籾摺機標準廻轉數
篠宮式	ゼット石油發動機	3.0馬力	180回(一分間)
冷齒式	インターナショナル石油發動機	1.5	200回(一分間)
野本式	ゼット石油發動機	3.0	200回(一分間)
岩田式	クボタ石油發動機	2.0	175回(一分間)

但シ本試験ニ於テハ電氣(鳥羽三馬力電動機)ヲ以テ運轉シタリ

甲、構造ニ關スル調査

(イ) 篠宮式籾摺調製機(土臼)

- 1 齒ノ厚サ 一分五厘
- 2 齒ノ間隔 外周六分五厘 内周六分



- 3 溝ノ深サ 一分
  - 4 齒ノ打方 中心線ニ對シ直角
  - 5 齒ノ區劃 八區劃
  - 6 齒ノ長サ 上臼三寸 下臼二寸五分
  - 7 齒ノ材料 櫟
  - 8 胴ノ直徑 二尺
  - 9 内楯ノ大サ 六寸角
  - 10 内楯ノ深サ 四寸
  - 11 土臼ノ重量 二十三貫(新品)
- (ロ) 冷齒式臼摺機(ゴム臼)
- 1 齒板ノ厚サ 五分
  - 2 硬質ゴムノ幅 二分
  - 3 軟質ゴムノ幅 三分
  - 4 臼ノ直徑 一尺八寸
  - 5 内楯ノ形状 圓形

- 6 内楯ノ直徑 一尺五分
- 7 臼ノ重量 十貫五百匁

(ハ) 野本式臼摺機(ローラー)

- 1 「ローラー」ノ直徑 四寸
  - 2 「ローラー」ノ長サ 一尺五寸
- 漏斗ノ粗ハ鐵製ノ溝付「ローラー」ノ廻轉ニ伴ヒ下方ニ裝置セル二個ノ「ローラー」ノ中間へ落下シ脱稗サル、モノナリ

(ニ) 岩田式臼剝機(遠心力ヲ利用スルモノ)

- 1 廻轉板ノ直徑 一尺
- 2 導溝ノ數 三
- 3 衝突板ノ厚サ 二分五厘

漏斗ノ粗ハ圓筒形ノ供給口(直徑一寸七分)ヲ通り廻轉板ニ連續的ニ送入セラレ其ノ粗ハ遠心力ニヨリ外周ニ飛散セントスル際脱稗面ニ縱ニ衝突シテ脱稗サル、モノナリ

乙、試驗成績







備考

- 一 水分含有量ハ「ホフマン」氏水分定量器ニヨリテ檢定セリ
- 二 胴割歩合ハ穀粒内容透視鏡ニヨリテ三百粒内外ニ就テ調査セリ
- 三 千粒重量ハ充實完全ナル粒ノミニツキテ調査セリ
- 四 剛度ハ胴割ナキ充實完全ナル粒五十粒ニツキテ調査セリ
- 五 胴摺扱ノ損傷程度ハ肉眼ヲ以テ鑑定セリ
- 六 檢査等級ハ本縣穀物檢査所ノ鑑定ナリ
- 七 溫度ハ攝氏ヲ以テ示ス
- 八 碎米量ハ約八厘四方ノ目ヲ有スル篩ヲ以テ篩ヒ落シタルモノノ量ナリ

以下之ニ準ズ

(口) 機械名 岩田式扱剝機

供試扱ノ種類 大場種

試 驗 日	天 候	氣 溫	濕 度	供 試 扱 容 量
三月九日	曇	四・五	七五	一・〇〇
三月九日	曇	四・五	七五	一・〇〇
三月九日	曇	四・五	七五	一・〇〇
三月九日	曇	四・五	七五	一・〇〇
三月八日	小雨	三・五	九一	一・〇〇
三月九日	曇	四・五	七五	一・〇〇

事 項 扱ノ乾燥良好ナルモノ 扱ノ乾燥不良ナルモノ

同 扱 重 量	扱 剝 機 廻 轉 數	同 扱 重 量	扱 剝 機 廻 轉 數
二八・二〇〇	一・〇〇	二八・三〇〇	一・一〇
二八・二〇〇	一・〇〇	二八・三〇〇	一・一〇
二八・二〇〇	一・〇〇	二八・三〇〇	一・一〇
二八・二〇〇	一・〇〇	二八・三〇〇	一・一〇
二六・七五〇	一・八〇	二六・七五〇	一・八〇
二六・六〇〇	一・八五	二六・六〇〇	一・八五

作 業 狀 態

玄 米	一 檢 査 等 級	一 檢 査 等 級	一 檢 査 等 級	一 檢 査 等 級	一 檢 査 等 級	一 檢 査 等 級	一 檢 査 等 級
三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等	三 等
二四・九八一	三九六	二四・九四七	三九五	二五・〇六三	三九五	二五・三六四	三九二
二四・九八一	三九六	二四・九四七	三九五	二五・〇六三	三九五	二五・三六四	三九二
二四・九八一	三九六	二四・九四七	三九五	二五・〇六三	三九五	二五・三六四	三九二
二四・九八一	三九六	二四・九四七	三九五	二五・〇六三	三九五	二五・三六四	三九二
二四・九八一	三九六	二四・九四七	三九五	二五・〇六三	三九五	二五・三六四	三九二
二四・九八一	三九六	二四・九四七	三九五	二五・〇六三	三九五	二五・三六四	三九二

工 程

石 摺 油 落 消 費 量	同 摺 削 容 量	同 摺 削 容 量	同 摺 削 容 量	同 摺 削 容 量	同 摺 削 容 量	同 摺 削 容 量	同 摺 削 容 量
四・四八	二・六九	四・三〇	二・七二	四・一〇	二・八二	四・三八	二・七六
四・四八	二・六九	四・三〇	二・七二	四・一〇	二・八二	四・三八	二・七六
四・四八	二・六九	四・三〇	二・七二	四・一〇	二・八二	四・三八	二・七六
四・四八	二・六九	四・三〇	二・七二	四・一〇	二・八二	四・三八	二・七六
四・四八	二・六九	四・三〇	二・七二	四・一〇	二・八二	四・三八	二・七六
四・四八	二・六九	四・三〇	二・七二	四・一〇	二・八二	四・三八	二・七六
四・四八	二・六九	四・三〇	二・七二	四・一〇	二・八二	四・三八	二・七六



所製要馬力	調製人時	摺歩合	玄米量	摺後ノ剛度
二三分	三人	七四五	六〇二三	六九三〇
二五〇〇	三人	八三三	六九四九六	七〇二四
二四〇〇	三人	八四七	七四六三五	七二六四
三〇〇〇	三人	七三三	五六三三	六四一四
二八三〇	三人	七九四	六三三八九	六五九七
二六〇〇	三人	八二七	六七八九〇	六八〇八

(八) 機械名 冷齒式糶摶機  
供試糶ノ種類 石臼種

試驗月日	天氣	濕度	供試糶重	同糶ノ溫
三月六日	快晴	五〇度	一〇〇石	二八〇〇度
三月六日	快晴	五〇度	一〇〇石	二七八〇〇度
三月六日	快晴	五〇度	一〇〇石	二七八〇〇度
二月廿七日	曇	五五度	一〇〇石	二六五〇〇度
二月廿六日	晴	六五度	一〇〇石	二六四〇〇度
二月廿七日	曇	五五度	一〇〇石	二六四〇〇度

糶ノ乾燥良好ナルモノ  
糶ノ乾燥不良ナルモノ

糶摶機廻轉數	作業狀態	玄洞割歩合	米一檢査等	碎粒重	糶番	同摶傷程	同摶損傷程	石油消費量	所製要馬力
一八〇回	三等	三三%	三六〇度	二九〇八度	一〇〇合	二七六度	二七六度	一〇〇 C.C.	二四五〇分
二〇〇	三等	三三%	三八〇度	三三五四度	一〇〇合	二七五度	二七五度	一三五	二五〇〇
二二〇	四等	二五七	三八〇度	三三三七度	一〇〇合	二八五度	二八五度	一三〇	二三〇〇
一八〇	三等	一八七	三七八度	三三五六度	一〇〇合	二七〇度	二七〇度	一一五	二九〇〇
二〇〇	三等	二二〇	三七八度	三三七五度	一〇〇合	二七三度	二七三度	七〇	二九〇〇
二二〇	三等	二二〇	三七八度	三三六九三度	一〇〇合	二七三度	二七三度	七五	二八〇〇



摺	玄米量	摺後ノ剛度
一人	一時間當リ	一時間一馬力當リ
三人	八・九三	四・三〇一〇
三人	八・四六	四・六八〇
三人	七・六〇	五・〇六六
三人	八・四〇	四・〇四一五
三人	七・四六	四・八一四四
三人	八・七二	六・四五二

(三) 機械名 冷齒式糶摶機  
供試糶ノ種類 大場種

試	天	氣	濕	供	同	糶	糶
驗	候	度	度	試	重	溫	機
日	度	度	度	容	容	度	廻
月	度	度	度	容	容	度	轉
日	度	度	度	容	容	度	數
三月四日	曇	五・五	四・三	一・〇〇	二七・六五	七・五	一八〇
三月六日	快晴	五・〇	九・一	一・〇〇	二七・二〇〇	七・五	二〇〇
三月六日	快晴	五・〇	九・一	一・〇〇	二七・九〇〇	七・〇	二二〇
三月四日	曇	五・五	四・三	一・〇〇	二六・八〇〇	七・〇	一八〇
三月四日	曇	五・五	四・三	一・〇〇	二六・八〇〇	八・〇	二〇〇
三月四日	曇	五・五	四・三	一・〇〇	二六・八〇〇	七・〇	二二〇

玄	米	碎	糶	同	同
洞	一	千	番	同	同
割	粒	溫	損	損	損
步	升	度	傷	傷	傷
合	重	米	程	程	程
レ	重	度	度	度	度
合	等	量	容	容	容
レ	級	量	量	量	量
合	級	量	量	量	量
三・九七	三・八〇	三・三五九	二・七三	二・七三	二・七三
四・九三	三・八〇	三・七五九	二・七三	二・七三	二・七三
五・三三	三・八一	二・八八〇	二・八二	二・八二	二・八二
四・八七	三・八〇	二・五七九	二・六五	二・六五	二・六五
五・〇〇	三・八〇	二・五四一	二・六八	二・六八	二・六八
五・四三	三・八〇	二・五四〇	二・七五	二・七五	二・七五

摶	石	所	調	摶
落	油	要	製	步
時	消	馬	人	合
費	費	力	夫	夫
間	量	量	間	間
四・五五	一〇〇	二〇・四〇	三・八五	三・八五
六・三〇	一三〇	二四・一〇	三・八六	三・八六
五・五五	一四五	二九・〇〇	八・四二	八・四二
五・五〇	一三〇	三三・三〇	八・八四	八・八四
五・〇五	九五	二七・五〇	八・四六	八・四六
四・二〇	九〇	二九・〇〇	七・四七	七・四七

一三

一一



玄米量	石
一時間當リ	六四九四
一時間一馬力當リ	四七五三
一時間一馬力當リ	五七八五
一時間一馬力當リ	五四一八
一時間一馬力當リ	五六七三
一時間一馬力當リ	六〇〇六

(ホ) 篠宮式粃摺調製機  
供試粃ノ種類 石白種

試 驗 月 日	天 候	氣 溫	濕 度	供 試 容 量	同 重 量	粃 摺 機 廻 轉 數	洞 割 歩 合
三月八日	小雨	三五度	九一	一〇〇	二七四〇	一五〇	二四三%
三月八日	小雨	三五度	九一	一〇〇	二七四〇	一八〇	二五〇
三月八日	小雨	三五度	九一	一〇〇	二七五〇	二〇〇	二六〇
二月五日	小雪	三〇度	七三	一〇〇	二六五〇	一五〇	三〇三
二月五日	小雪	三〇度	七三	一〇〇	二六四〇	一八〇	二六〇
二月五日	小雪	三〇度	七三	一〇〇	二六五〇	二〇〇	二四七

一四

玄 米 量	石	一 時 間 當 力	一 時 間 當 力	一 時 間 當 力	一 時 間 當 力	一 時 間 當 力	一 時 間 當 力
一時間一馬力當リ	三・四八五	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人
一時間一馬力當リ	三・九〇三	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人
一時間一馬力當リ	四・四三五	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人
一時間一馬力當リ	二・五二三	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人
一時間一馬力當リ	二・七二四	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人
一時間一馬力當リ	三・二六五	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人

一五



(ハ) 機械名 篠宮式粃摺調製機  
供試粃種類 大場種

粃摺後ノ剛度	六・四五四	六・七七六	七・三〇〇	六・四五六	六・四一八	六・〇二〇
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

試 驗 日	天 候	氣 温	濕 度	供 試 容 量	同 重 量	粃 摺 廻 轉 數	作 業 狀 態	事 項
二月六日	晴	六・五	六二	一・〇〇	二・七〇〇	一五〇	四等	粃ノ乾燥良好ナルモノ
二月六日	晴	六・五	六二	一・〇〇	二・七八〇	一八〇	四等	粃ノ乾燥良好ナルモノ
二月六日	晴	六・五	六三	一・〇〇	二・七〇〇	二〇〇	四等	粃ノ乾燥良好ナルモノ
二月四日	曇	二・〇	八一	一・〇〇	二・六〇〇	一五〇	四等	粃ノ乾燥不良ナルモノ
二月四日	曇	二・〇	八一	一・〇〇	二・六八〇	一八〇	四等	粃ノ乾燥不良ナルモノ
二月五日	小雪	三・〇	七三	一・〇〇	二・六八〇	二〇〇	四等	粃ノ乾燥不良ナルモノ

米 一 升 重 量	碎 粒 重 量	糝 番 容 量	二 番 容 量	同 損 傷 程 度	同 損 傷 程 度	工 程	石 油 消 費 量	所 要 馬 力	調 製 時 間	摺 落 時 間	玄 米 量	粃 摺 後 ノ 剛 度
三・七七	三・三九	一・〇〇	〇・三〇	三・〇〇	三・〇〇	二六〇	二六〇	二	二	三・〇〇	六・六六	
三・七	三・三六	〇・八〇	〇・四〇	三・九	三・九	二八五	二八五	二	二	三・二九	六・七〇	
三・七	三・四一	一・四〇	〇・四〇	三・三	三・三	二七五	二七五	二	二	三・八八	六・八四	
三・七	三・四〇	一・〇九	〇・三二	三・〇	三・〇	三三〇	三三〇	二	二	二・四六	六・三二	
三・七	三・三八	二・五	〇・三六	三・八	三・八	二四五	二四五	二	二	三・二七	六・七三	
三・七	三・四九	一・〇〇	〇・七五	三・四〇	三・四〇	二九五	二九五	二	二	三・四五	五・八八	







(イ) 機械名 岩田式粃剝機

(二) 本 試 驗

工 程	摺 落 時 間		石 油 消 費 量		所 要 馬 力		調 製 時 間		摺 歩 合 夫 間		玄 米 量		粃 摺 後 ノ 剛 度
	分	分	c.c.	分	分	分	分	分	分	分	分	分	
二 番 摺 容 量	一・六八六	二・七四四	二・九一六	二・六八〇	二・二七四	二・二七〇	二・二七〇	二・二七〇	二・二七〇	二・二七〇	二・二七〇	二・二七〇	二・二七〇
同 一 摺 重 量	二・八二	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六
同 損 傷 程 度	二・八二	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六	二・九一六

事 項	試 驗 日		天 候		氣 溫		濕 度		供 試 容 量		同 重 量		粃 摺 機 廻 轉 數	
	日	時	晴	曇	度	度	度	度	石	度	度	度	度	度
粃ノ乾燥良好ナルモノ	五月五日	晴	五月四日	曇	一五・五	一六・五	七三	一・〇〇	二八・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇
粃ノ乾燥不良ナルモノ	五月四日	曇	五月四日	曇	一五・五	一六・五	七三	一・〇〇	二八・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇







(八) 機械名 篠宮式糶調製機

試供 驗試 月ノ 種 日類	事 項	糶				工 程	同 損 傷 程 度	同 升 重 量					
		糶後ノ剛度	玄米量 一時間一馬力當リ	糶歩 一時間當リ	調製 一人時				所 要 馬 力	電 力 消 費	摺 落 時 間		
三月五日	石白種	糶ノ乾燥良好ナルモノ	七六三六	一八四九八	四三六九三	八七一七	三一人	二四〇〇	二六二〇分	一・一〇	二・三六	二・三三	二八三
三月五日	大場種	糶ノ乾燥良好ナルモノ	八二六〇	一六〇五七	四〇九四六	八六一	三一人	二四〇〇	三〇三三	一・五三	二・五五	二・五〇	二八八
三月四日	石白種	糶ノ乾燥不良ナルモノ	七五六八	二〇一七七	四八四三五	八七六	三一人	二四〇〇	二四〇〇	一・〇〇	二・四〇	二・四〇	二八三
三月五日	大場種	糶ノ乾燥不良ナルモノ	八〇四八	一六八七六	四一〇六〇	七三三	三一人	二四〇〇	二四〇〇	一・一五	二・四三	二・四〇	二七七

二五

二糶 番 摺 糶 容 量	碎 米 玄	温 千 粒 重 米	一 升 重 量	檢 査 等 級	洞 割 步 合	洞 割 步 合	天 候	氣 温	濕 度	供 試 糶 ノ 容 量	同 重 量	糶 機 廻 轉 數	試 驗 月 日
六・五三	二・三	三・五	三・五	三・五	二・〇	二・〇	三月六日	雪	二・〇	四・〇	二・〇	一八〇	三月六日
四・四八〇	二・三	三・五	三・五	三・五	二・〇	二・〇	三月七日	晴	二・〇	四・〇	二・〇	一八〇	三月七日
六・〇〇〇	二・三	三・五	三・五	三・五	二・〇	二・〇	三月六日	雪	二・〇	四・〇	二・〇	一八〇	三月六日
一〇・二六〇	二・三	三・五	三・五	三・五	二・〇	二・〇	三月七日	晴	二・〇	四・〇	二・〇	一八〇	三月七日

二四











碎米	精米機ヲ通ル	搗減歩合	檢査	白米	同	右	玄米	玄米
重容	時回	重容	等	一升重	一斗重	一斗重	一斗重	一斗重
量	間數	量	級	量	量	量	量	量
二〇	七五分	〇七九	〇三三	三〇	三六五	九七七	三六五	九七七
三七〇	九二六	〇九七	〇五〇	三二	三二五	九五〇	三二五	九五〇
一三〇	七三五	〇八五	〇三二	三七	三七七	九六九	三七七	九六九
三三〇	九〇〇	〇八九	〇五五	三八〇	三五七五	九四五	三八〇	九四五

備考

- 一 玄米一斗ニ對シ搗粉百匁宛ヲ加ヘタリ
- 二 精白ノ程度ハ移出三等ヲ標準トシ肉眼鑑定ニヨリ各區共成ルベク同一ノ白サタラシメタリ
- 三 碎米量ハ約八厘四方ノ目ヲ有スル篩ヲ以テ篩ヒ落シタルモノ、量ナリ
- 四 檢査等級ハ穀物檢査員數名ノ鑑定ニテ其ノ平均ナリ
- 五 以下之レニ準ズ

(ロ) 機械名 冷齒式搗摺機

碎米	精米機ヲ通ル	搗減歩合	檢査	白米	同	右	玄米	玄米
重容	時回	重容	等	一升重	一斗重	一斗重	一斗重	一斗重
量	間數	量	級	量	量	量	量	量
二〇	八二六	〇九四	〇五六	三〇	三五五	九四四	三五五	九四四
三〇〇	一〇〇〇	〇九二	〇七三	三二	三五五	九二八	三五五	九二八
一〇〇	八四〇	〇九二	〇八三	三七	三五〇	九一七	三七	九一七
二〇〇	九〇〇	〇九五	〇七三	三八一	三五〇	九二七	三八一	九二七

(ハ) 機械名 篠宮式搗摺調製機

事	項	石	供	乾	燥	良	好	ナ	ル	モ	ノ
玄米	一升重量	石	供	乾	燥	良	好	ナ	ル	モ	ノ
三六〇〇		石	供	乾	燥	良	好	ナ	ル	モ	ノ
三六〇〇		石	供	乾	燥	良	好	ナ	ル	モ	ノ
三六〇〇		石	供	乾	燥	良	好	ナ	ル	モ	ノ



(三) 機械名 野本式臼摺機

碎米	精米機ヲ通ル	搗減歩合	檢査	白米	同右	玄米一升ヨリ生ズル白米容量
重容	時回	重容	等	一升重	重	量
量	間數	量	級	量	量	量
二六〇	〇・七〇	八・四四	三等ノ下	三三九	三四五	九・一六
五〇〇	一・四〇	九・三三	三等ノ下	三八三	三四〇	九・〇〇
一六〇	〇・四〇	八・〇〇	三等ノ下	三七八	三四一〇	九・一〇
二四〇	〇・七〇	八・二三	三等ノ中	三八〇	三三九五	八・九〇

事	項	石白種	供試	乾燥良好ナルモノ	石白種	供試	乾燥不良ナルモノ
玄米一升ヨリ生ズル白米容量	同右	大場種	玄米	大場種	大場種	玄米	大場種
量	量	種	米	種	種	米	種
三六〇	九・四五	三九三〇	三九三〇	三九三〇	三八一〇	三九三〇	三九三〇
三五五	九・四五	九・三六	九・三六	九・三六	九・二七	九・三三	九・三三
三八〇	三・四五	三五三五	三五三五	三五三五	三四八五	三四七〇	三四七〇
		三八二	三八二	三八二	三七九	三八一	三八一

搗減歩合	精米機ヲ通ル	碎米	檢査	三等ノ中	三等ノ中	三等ノ中	三等ノ中
重容	時回	重容	等	〇・五五	〇・七四	〇・七三	〇・八七
量	間數	量	級	〇・八二	一・〇一	〇・八五	〇・九四
二〇〇	七・三〇	二〇〇	三等ノ中	一・〇一	一・〇一	一・〇一	一・〇一
〇・六〇	七・三〇	〇・六〇	三等ノ中	九・五一	九・五一	八・〇〇	九・二六
二〇〇	七・三〇	二〇〇	三等ノ中	一・〇一	一・〇一	一・〇一	一・〇一
二〇〇	七・三〇	二〇〇	三等ノ中	〇・九〇	〇・九〇	〇・三三	〇・六〇
二〇〇	七・三〇	二〇〇	三等ノ中	三・三〇	三・三〇	一・〇〇	二・三〇



昭和元年度

農林省委託

籾摺機試驗成績

富山縣立農事試驗場報告

第一號	...	...	...	...
第二號	...	...	...	...
第三號	...	...	...	...
第四號	...	...	...	...
第五號	...	...	...	...
第六號	...	...	...	...
第七號	...	...	...	...
第八號	...	...	...	...
第九號	...	...	...	...
第十號	...	...	...	...



## 昭和元年度試験

### 一、試験ノ目的

動力糶摺機ノ種々ナル糶摺面材料（或ハ衝突面材料）ヲ異ニセルモノニ付前年度ノ試験ヲ繼續シテ糶ノ品種及ビ乾燥程度ヲ異ニセル材料ヲ供試シ一定糶量ヨリ生ズル碎米及ビ白米ノ容量品質及ビ所要勞力經費等ヲ測定シ前年度ノ成績及ビ之等種々ノ關係ヲ綜合シテ各種糶摺機ノ適否ヲ知ラントス

### 一、供試糶摺機ノ種類

篠宮式糶摺調製機

冷齒式糶摺機

野本式糶摺機

岩田式糶剝機

### 三、試験方法



(イ) 供試籾ノ種類及乾燥程度等

種別	大場		銀坊		主	
	乾燥良好	乾燥不良	乾燥良好	乾燥不良	乾燥良好	乾燥不良
籾水分含量	一四・五%	一五・三	一三・六	一四・四	一四・八	一四・四
玄米水分含量	一五・六	一六・〇	一四・〇	一四・八	一六・〇	一六・〇
籾一升重量	二八〇・〇	二五八・〇	二六五・〇	二五〇・〇	二五〇・〇	二五〇・〇
胴割歩合	二二・〇%	三・〇	二五・〇	一六・〇	一六・〇	一六・〇
剛度	五・二六	四・九八	六・五六	五・八一	五・八一	五・八一
千粒重	二六・三三	二六・七三	二六・六五	二六・六五	二六・六五	二六・六五
歩止重量	五・八二〇	五・三二二	五・六八〇	五・六八〇	五・六八〇	五・六八〇

本試験ニ供用セル籾ハ其ノ量比較的多キヲ以テ到底當場ニテ同一地味ニ同一栽培法ニヨリテ同一系統ノモノヲ栽培シタル籾ヲ供用スルコト能ハズ止ムヲ得ズ之レヲ當場附近ノ農家ガ普通ニ栽培セルモノニツキテ得タルガ故ニ其ノ籾ノ系統土地ノ地味生産者ノ栽培法等種々異リタルモノヲ混淆シタリ、從テ各種ノ籾摺機ニ供用シ比較對照上妥當タラザルモノアルヲ免レズ

(ロ) 豫備試験

本試験ノ準備トシテ各機ノ能率及ビ作業状態ヲ略同一ナラシムル爲用ヒタルモノニシテ此ノ試験ニ於テハ籾一石宛ヲ各種ノ状態ヲ以テ(籾摺機ノ廻轉數ヲ一割増減シタリ)使用シ一個ノ籾摺機トシテ最モ良好ナル状態ヲ見出サントスルモノナリ

(ハ) 本試験

豫備試験ニ於テ比較的良好ナル成績ヲ擧ゲ得ル廻轉數及ビ作業状態等ヲ調査シタル條件ノ下ニ各々異ナレル機械ヲ長時間(籾四石)運轉シ比較セントスルモノナリ

(ニ) 利用原動機及籾摺機ノ標準廻轉數

籾摺機ノ名稱	原動機ノ名稱	馬力	籾摺機ノ標準廻轉數
篠宮式	芝浦電動機	三馬力	一八〇廻轉(一分間)
冷齒式	同	同	二〇〇
野本式	同	同	二〇〇〇
岩田式	同	同	二〇〇〇

甲、試験成績

(一) 豫備試験

(イ) 機械名 篠宮式籾摺調製機



供試糶種類 銀坊主

試 驗 日	天 候	氣 溫	濕 度	供 試 糶 容 量	同 糶 重 量	糶 機 廻 轉 數	糶 摺 後 剛 度	作 業 狀 態	
								糶 摺 機 廻 轉 數	糶 摺 後 剛 度
五月九日	曇	二二・〇	七〇・〇	一〇〇・〇	二六・六〇〇	一四・五	一五〇	稍多	糶ノ乾燥良好ナルモノ
五月九日	曇	二二・〇	七〇・〇	一〇〇・〇	二六・九〇〇	一六・〇	一八〇	稍多	糶ノ乾燥良好ナルモノ
五月九日	曇	二二・〇	七〇・〇	一〇〇・〇	二六・九〇〇	一五・五	二〇〇	稍多	糶ノ乾燥良好ナルモノ
五月九日	曇	二二・〇	七〇・〇	一〇〇・〇	二五・二〇〇	一四・〇	一五〇	多	糶ノ乾燥不良ナルモノ
五月九日	曇	二二・〇	七〇・〇	一〇〇・〇	二五・三〇〇	一五・五	一八〇	多	糶ノ乾燥不良ナルモノ
五月九日	曇	二二・〇	七〇・〇	一〇〇・〇	二五・四〇〇	一五・五	二〇〇	多	糶ノ乾燥不良ナルモノ

糶 摺 後 剛 度	玄 米 量	糶 摺 歩 合	調 製 人 時	所 要 馬 力	電 力 消 費 量	摺 落 時 間	工 程	
							同 損 傷 程 度	同 升 重 量
五九一	五〇・五五五	二 人	二〇・〇	〇・二四八 k.w	六・二	多	〇・一九〇	
五九五	五八・九四〇	二 人	二〇・二〇	〇・二六	五・二五	多	〇・一九五	
六四三	六三・六七二	二 人	二二・〇	〇・二七四	五・〇三	多	〇・二七〇	
六七七	四二・二三三	二 人	二二・〇	〇・二八二	七・二五	多	〇・二二五	
五五三	四九・八九七	二 人	一七・〇	〇・二二三	六・四〇	多	〇・一八五	
五四七	五〇・二〇〇	二 人	二〇・〇	〇・二七四	六・〇〇	多	〇・二五五	

備考

- 一 水分含量「ホフマン」氏水分定量器ニヨリテ檢定セリ
- 二 胴割歩合ハ穀粒内容透視鏡ニヨリテ三百粒内外ニ就テ調査セリ
- 三 千粒重量ハ充實完全ナル粒ノミニツキテ調査セリ











(二) 機械名 冷齒式糶機

供試糶ノ種類 大場種

糶摺後ノ剛度	事 項	試 驗 月 日	天 候	氣 溫	濕 度	供 試 糶 容 量	同 糶 重 量	糶 摺 機 廻 轉 數	作 業 狀 態	米 玄
六〇〇 <sup>註</sup>	糶ノ乾燥良好ナルモノ	三月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二七八〇〇斗	一〇〇〇回	糶ノ乾燥良好ナルモノ	一 檢 査 重 量 級
六〇八	糶ノ乾燥良好ナルモノ	三月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二七八〇〇斗	一三〇〇回	糶ノ乾燥良好ナルモノ	升 重 量 級
六七三	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月七日	曇	一六八度	七九〇度	一〇〇〇斗	二七五〇〇斗	二二〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合
六五九	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二五二〇〇斗	一八〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合
五五八	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二五〇〇〇斗	二〇〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合
五五六	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月七日	曇	一六八度	七九〇度	一〇〇〇斗	二五二〇〇斗	一三〇〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合

四四

(ホ) 機械名 野本式糶機

糶摺後ノ剛度	工 程	糶 摺 機 廻 轉 數	同 糶 重 量	供 試 糶 容 量	天 候	氣 溫	濕 度	糶 摺 機 廻 轉 數	作 業 狀 態	米 玄
五五〇	糶ノ乾燥良好ナルモノ	三月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二七八〇〇斗	一〇〇〇回	糶ノ乾燥良好ナルモノ	一 檢 査 重 量 級
五五〇	糶ノ乾燥良好ナルモノ	三月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二七八〇〇斗	一三〇〇回	糶ノ乾燥良好ナルモノ	升 重 量 級
五四四	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月七日	曇	一六八度	七九〇度	一〇〇〇斗	二七五〇〇斗	二二〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合
四一三	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二五二〇〇斗	一八〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合
四九九	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月六日	快晴	一〇〇度	八二〇度	一〇〇〇斗	二五〇〇〇斗	二〇〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合
四六九	糶ノ乾燥不良ナルモノ	二月七日	曇	一六八度	七九〇度	一〇〇〇斗	二五二〇〇斗	一三〇〇回	糶ノ乾燥不良ナルモノ	洞 割 歩 合

四五



供試籾ノ種類 銀坊主種

試 驗 日	天 候	氣 溫	濕 度	供 試 容 量	同 重 量	籾 機 廻 轉 數	事 項
五月一日	快晴	二四〇	四四〇	一〇〇〇	二六・六〇	一五八〇	籾ノ乾燥良好ナルモノ
五月二日	曇	一六六	九六〇	一〇〇〇	二六・六〇	一七五〇	籾ノ乾燥不良ナルモノ
五月二日	曇	一六六	九六〇	一〇〇〇	二六・六〇	一七五〇	籾ノ乾燥不良ナルモノ
五月一日	快晴	二四〇	四四〇	一〇〇〇	二五・一〇〇	一五八〇	籾ノ乾燥良好ナルモノ
五月一日	快晴	二四〇	四四〇	一〇〇〇	二五・一〇〇	一七五〇	籾ノ乾燥良好ナルモノ
五月二日	曇	一六六	九六〇	一〇〇〇	二六・六〇	一七五〇	籾ノ乾燥不良ナルモノ

碎 米	糶 二	同 同	工 程	摺 落 時 間	電 力 消 費	所 要 馬 力	調 製 時 間	籾 摺 歩 合	玄 米 量	籾 摺 後 ノ 剛 度
割 歩 合	割 歩 合	割 歩 合	少シ	七〇分	〇・一八八 k.w	三 人	三 分	四〇〇八六	一時間一馬力當リ	五・七六
少シ	少シ	少シ	少シ	七一分	〇・一七六	三 人	三 分	三・九八七	一時間一馬力當リ	六〇五
少シ	少シ	少シ	少シ	七三分	〇・一七三	三 人	三 分	三・三二六	一時間一馬力當リ	六四五
少シ	少シ	少シ	少シ	八三分	〇・二二三	三 人	三 分	二九〇九〇	一時間一馬力當リ	五五九
少シ	少シ	少シ	少シ	七五二	〇・二〇四	三 人	三 分	三三・二二三	一時間一馬力當リ	五八九
少シ	少シ	少シ	少シ	七四三	〇・一九八	三 人	三 分	二六・六六一	一時間一馬力當リ	五九三

(ハ) 機械名 野本式籾摺機

供試籾ノ種類 大場種



試 験 月 日	天 候	氣 温	濕 度	供 試 重 容 量	同 重 容 量	粗 糶 廻 轉 數	糶 摺 機 廻 轉 數	作 業 狀 態					
								洞 割 歩 合	洞 摺 歩 合	檢 査 等 級	一 升 重 量		
五月二六日	曇	五九	五六〇	一〇〇〇	二七六〇〇	一五八〇	〇・四〇	少シ	三等上	三六八	二五七七一	〇・〇〇二	〇・〇四〇
五月二六日	曇	五九	五六〇	一〇〇〇	二七六〇〇	一七五〇	〇・四〇	少シ	三等中	三六六	二五七三三	〇・〇〇四	〇・〇四〇
五月二六日	雪	二三	九四〇	一〇〇〇	二七六〇〇	一九三〇	〇・三〇	少シ	三等中	三六六	二五八一九八	〇・〇〇五	〇・一三〇
五月二六日	曇	五九	五六〇	一〇〇〇	二四六〇〇	一五八〇	〇・六五	少シ	三等中	三六一	二六三六九四	〇・〇〇三	〇・〇六五
五月二六日	曇	五九	五六〇	一〇〇〇	二四六〇〇	一七五〇	〇・七〇	少シ	三等下	三八〇	二六二七八二	〇・〇〇三	〇・〇七〇
五月二六日	雪	二三	九四〇	一〇〇〇	二五〇〇〇	一九三〇	〇・一八	少シ	三等下	三八一	二六二六〇〇	〇・〇〇四	〇・一八

(ト) 機械名 岩田式糶剝機

試 験 月 日	事 項	糶ノ乾燥良好ナルモノ	糶ノ乾燥不良ナルモノ	糶ノ乾燥良好ナルモノ	糶ノ乾燥不良ナルモノ	工 程			
						摺 落 時 間	電 力 消 費 量	所 要 馬 力	調 製 時 間
五月二六日	糶ノ乾燥良好ナルモノ	五・二七	五・四一	六〇五	九・五〇	二・〇二	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇
五月二六日	糶ノ乾燥良好ナルモノ	五・二七	五・四一	六〇五	九・五〇	二・〇二	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇
五月二六日	糶ノ乾燥不良ナルモノ	五・二七	五・四一	六〇五	九・五〇	二・〇二	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇
五月二六日	糶ノ乾燥不良ナルモノ	五・二七	五・四一	六〇五	九・五〇	二・〇二	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇
五月二六日	糶ノ乾燥良好ナルモノ	五・二七	五・四一	六〇五	九・五〇	二・〇二	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇
五月二六日	糶ノ乾燥不良ナルモノ	五・二七	五・四一	六〇五	九・五〇	二・〇二	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇



















作業状態

洞割歩合	二五・三%	二四・七	一七・〇	二三・〇
作状態	少	少	少	少
損傷程度	二七六	二七九	二六〇	二六〇
升重	六四一六	九三八	九九二〇	九七四〇
糶容	一・六八〇	〇・六二〇	一九六〇	〇・八八〇
粒重	〇・〇〇八	〇・〇〇八	〇・〇〇六	〇・〇〇四
碎米	一六〇	九〇	一七〇	八五
米一升	二・三五六〇	二・五八七〇	三・三四五一	二・五七三五八
米一千	三九一	三六六	三八一	三八〇
檢査	三・九一	三・八六	三・八一	三・八〇
洞割	三・〇	二・四〇	一・五〇	三・六三

工程

摺落時	二七・三分	二〇・三四	三・八二四	三・七四〇
電力消費	〇・八八四 k.w.	〇・九〇〇	〇・九三八	一・二三八
所要馬力	二・三〇	二・四五	二・四八	二・五〇
時間	二〇〇分	二〇〇分	二〇〇分	二〇〇分
調製人	三人	三人	三人	三人

糶歩合	七・五五	七・五〇	六・五五	七・二八
玄米量	三七七六一	三六・六六〇	三三・一二八	二四・九〇〇
一時間一馬力當り	一七九八一	一九・二九四	一五・四一八	一六・六〇〇
糶後ノ剛度	六・六六	五・三三	五・七七	五・〇〇

(三) 機械名 岩田式糶剝機

事	供試糶ノ種類	銀坊主種	大場種	銀坊主種	大場種
天候	晴	雪	晴	雪	
試験月日	五月二七日	二月九日	五月六日	一月二日	
氣温	一九・二度	〇・七度	一四・三度	〇・七度	
濕度	七・〇度	九二・〇度	七六・〇度	九二・〇度	
供試糶容	四・〇〇〇	四・〇〇〇	四・〇〇〇	四・〇〇〇	
同糶重	一〇六・八〇〇	一一〇・八〇〇	一〇〇・八〇〇	九九・六〇〇	
糶剝機廻轉數	二、〇〇〇回	二、〇〇〇回	二、〇〇〇回	二、〇〇〇回	
洞割歩合	二五・三%	二四・七	一七・〇	二三・〇	

糶ノ乾燥良好ナルモノ

糶ノ乾燥不良ナルモノ



工 程	玄 洞		米 一 升		碎 粒		二 番		同 損		同 傷	
	檢 査	等 級	溫 千 粒	重 重	重 重	重 重	重 重	重 重	重 重	重 重	重 重	重 重
	ナシ	三等ノ上	三・四〇三	三・九三	二・四〇三	一・五五	〇・四四	〇・三〇	六・四〇	二・五六	極少	極少
	ナシ	二等ノ中	二・六一	三・八	二・六一	一・〇〇	〇・六七	〇・五三	八・九〇	二・六九	極少	極少
	ナシ	四等ノ上	二・七五	三・八	二・七五	一・六五	〇・二六	〇・一九	九・五〇	二・四七	極少	極少
	ナシ	二等ノ下	二・九四	三・八	二・九四	九・五	〇・〇二	〇・〇一	一・二七	二・五九	極少	極少

工 程	電 力		所 要		調 製		玄 米	
	消 費	馬 力	時 間	人 員	時 間	人 員	時 間	馬 力
	〇・五九	一・五五	三・〇〇	三 人	一 時	一 人	一 時	一 馬力
	〇・六六	一・五五	二・八〇	三 人	一 時	一 人	一 時	一 馬力
	〇・五七	一・五五	二・九〇	三 人	一 時	一 人	一 時	一 馬力
	〇・六四	一・六〇	二・九〇	三 人	一 時	一 人	一 時	一 馬力

靱 摺 後 ノ 剛 度	六・三二	五・七六	五・九六	五・六六
-------------	------	------	------	------

### 乙、精 白 試 験

各靱拾貫目宛ヲ採リ四機ノ靱摺機ヲ以テ各々調製シ其ノ仕上ハ玄米ニ付キ「ナシヨナル」精米機ヲ用ヒテ精白ヲ試ミタルニ左ノ精白歩合ヲ示セリ

(イ) 機械名 篠宮式靱摺調製機

事 項	乾燥ノ良好ナルモノ				乾燥ノ不良ナルモノ			
	銀坊主種	大場種	銀坊主種	大場種	銀坊主種	大場種	銀坊主種	大場種
靱拾貫目ヨリ生ズル玄米容量	二・二七五	二・二八六	三・一〇二	二・二六〇	二・二七五	二・二八六	三・一〇二	二・二六〇
同 重 量	八・三七六	八・三九三	七・八三三	八・二三四	八・三七六	八・三九三	七・八三三	八・二三四
同 白 米 容 量	二・〇〇一	一・九七〇	一・九四〇	一・八六〇	二・〇〇一	一・九七〇	一・九四〇	一・八六〇
同 重 量	七・五八八	七・三六八	七・一四〇	七・二四七	七・五八八	七・三六八	七・一四〇	七・二四七
同 白 米 一 升 重 量	三・八二	三・七九	三・八〇	三・七六	三・八二	三・七九	三・八〇	三・七六
精米機ヲ通ル時間	二・四〇	一・七五	一・七三	一・五二	二・四〇	一・七五	一・七三	一・五二



検査等級	碎米	搗減歩合	容重	容重	容重
	量	量	量	量	量
四等ノ中	一・二七 合	〇・八〇 割	〇・八〇 割	〇・九四	
四等ノ上	〇・七四	二六	〇・九九	一・三三	
四等ノ中	〇・五三	一九	〇・七七	〇・九三	六二
四等ノ上	〇・九四	三三	一・三六	一・二〇	

備考

- 一、玄米壹斗ニ對シ搗粉七十匁ヲ加ヘタリ
- 二、精白ノ程度ハ移出三等ヲ標準トシ肉眼鑑定ニヨリ各區共可成同一ノ白サタラシメタリ
- 三、碎米量ハ約八厘四方ノ目ヲ有スル篩ヲ以テ篩ヒ落シタルモノ、量ナリ
- 四、檢定等級ハ穀物検査員數名ノ鑑定ニテ其ノ平均ナリ
- 五、以下之ニ準ズ

(ロ) 機械名 冷齒式搗摺機

事項	同	同	同	同	同
	白米	白米	白米	白米	白米
容重	量	量	量	量	量
銀坊主種	二・二二	八・三八	一・九三		
大場種	二・四三	七・八五	一・八九		
銀坊主種	二・二一	八・四三	一・九五		
大場種	二・五〇	八・四二	一・九七		

事項	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米
容重	量	量	量	量	量	量	量	量	量
銀坊主種	七・七六	三・八一	一・九三	〇・八一	〇・九三	〇・六六			
大場種	七・二一	三・七九	一・七〇	〇・六八	〇・八〇	一・〇五			
銀坊主種	七・三七	三・八〇	一・六二	〇・五六	〇・九七	一・三五			
大場種	七・四九	三・七七	一・五三	〇・九七	一・三三	一・二二			

(ハ) 機械名 野本式搗摺機

事項	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米
容重	量	量	量	量	量	量	量	量	量
銀坊主種	二・二七	八・二〇	一・九七	七・三七	三・八〇				
大場種	二・四〇	八・三五	一・九五	七・五八	三・七九				
銀坊主種	二・四〇	八・二〇	一・九八	七・三三	三・七九				
大場種	二・五九	八・二一	一・九七	七・三六	三・七七				



精米機ヲ通ル	碎		搗減歩合		精米機ヲ通ル
	時	回	重	容	
間數	量	量	量	量	級
二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	四等ノ下
一四	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	四等ノ下
一三	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	四等ノ上
一三	一六四八	一六四八	一六四八	一六四八	四等ノ中

(三) 機械名 岩田式剝剝機

事	同		同		同		同		事
	重	容	重	容	重	容	重	容	
銀坊主種	二〇九	八二〇	八二〇	八二〇	八二〇	八二〇	八二〇	八二〇	乾燥ノ良好ナルモノ
大場種	二二七	八五一	八五一	八五一	八五一	八五一	八五一	八五一	乾燥ノ不良ナルモノ
銀坊主種	二〇五	八二五	八二五	八二五	八二五	八二五	八二五	八二五	乾燥ノ良好ナルモノ
大場種	二二二	八二五	八二五	八二五	八二五	八二五	八二五	八二五	乾燥ノ不良ナルモノ

碎	搗減歩合		碎
	重	容	
三等ノ中	〇・九三	〇・七三	〇・八九
四等ノ中	〇・五二	〇・五六	〇・五七
三等ノ下	〇・九八	〇・七四	〇・六一
三等ノ下	〇・九一	〇・一七	〇・五四

丙、試験成績概評

動力用剝剝機ノ剝剝面材料竝ニ供試米ノ品種及ビ乾燥程度ヲ異ニスルモノニ付二ヶ年ニ涉リ試験セル處ナルガ其ノ成績ニ基キ概評スレバ次ノ如シ。

事	有芒		無芒	
	乾燥	不良	乾燥	不良
土白	三七三	一二七	三四三	二二七
ゴム	二四〇	一八三	三四七	一一〇
輓心	三一〇	一五〇	二四〇	三六三
遠心	二五三	一七〇	二四七	二三〇



籾摺ニ際シ胴割ヲ増加スル割合ハ有芒種無芒種ヲ通ジ土臼型輥軸型最モ多クゴム臼型之ニ亞ギ遠心力型最小ヲ示セリ。

二 玄米ノ一升重量

事 項	有 芒 種 籾				無 芒 種 籾			
	遠 心 力 型	輥 軸 型	ゴ ム 臼 型	土 臼 型	遠 心 力 型	輥 軸 型	ゴ ム 臼 型	土 臼 型
乾 燥 籾	三九三	三九一	三八五	三八九	乾 燥 不 良 籾	三六六	三六一	三七四
乾 燥 不 良 籾					乾 燥 籾	三八八	三八六	三七五
乾 燥 不 良 籾					乾 燥 不 良 籾	三八二	三八〇	三七〇

右表ニヨレバ有芒種無芒種共ニ一升重量ノ最モ輕キハゴム臼型ニシテ土臼型輥軸型順次之レニ亞ギ遠心力型最モ重シ。

之レゴム臼型ニ於テハ糶ニ近キ不良籾ヲモ完全ニ脱稈シ優良米中ニ不良米ノ混合割合多(不良米ヲ除去スル爲ニ唐箕ノ廻轉ヲ強クスレバ小粒ノ優良米ヲモ吹飛バス)キガ故ニ一定量ノ重量ノ輕キハ當然ナリトス。又土臼型輥軸型ニアリテハ脱稈ノ際玄米ノ表皮ヲ摺損ズルコト多キガ爲摺卸玄米面ガ粗糙トナリ容量測定ニ際シ摩擦抵抗ヲ生ジ一定ノ容器中ニ入ル玄米ノ粒數ヲ多カラシメザル現象ヲ呈スル

モノナリトス。

之レニ反シ遠心力型ニアリテハ脱稈能作ノ性質上表皮ヲ損傷スルコト殆ドナク容量測定ニ際シ玄米粒

子間ニ摩擦抵抗ヲ生ズルコト少シ即チ玄米ハ容器中へ滑込ム状態ヲ呈ス。尚又遠心力型ハ脱稈ニ際シ碎米ヲ生ズル割合土臼型等ニ比較シテ多ク殊ニ遠心力型ノ碎米ノ多クハ粒ノ二ツ割レニシテ之レガ選別ニ際シ普通ノ萬石(八厘目ノ金網)ニテハ二ツ割レ以下ノ碎米ハ完全ニ除去セラル、モ二ツ割レ以上ノ碎米ハ除去サル、コトナク其ノ儘完全玄米中ニ存在スルモノナルヲ以テ容量測定ノ場合ニ於テ碎米ノ爲ニ粒子ノ配列密トナリ空隙ヲ餘スコト少シ是等ノ關係ヲ以テ一定容積重ヲ大ナラシムルノ原因ナリトス。

三 胴摺ノ多少

玄米ノ胴摺レノ程度ハ土臼型最モ甚ダシクゴム臼型輥軸型之レニ亞ギ遠心力型ニ於テハ殆ンド之レヲ認メズ。

四 検査等級及ビ評價

脱稈部ノ種類ヲ異ニセル摺卸玄米ノ品質ヲ比較スレバ乾燥ノ良否ニ拘ラズ遠心力型上位ニシテ輥軸型之レニ亞ギ土臼型ゴム臼型順次下位ヲ示セリ。

之レ第二項ノ事實ヲ證スルモノニシテ即チ土臼型ハ摺卸玄米ノ表皮ヲ損傷(胴割)スルコト甚ダシキニ



依リ又ゴム白型ニアリテハ糶ヲモ完全ニ脱稈シ玄米中ニ不良米ノ多ク存在スルニ原因スルモノナリトス。  
 又之レヲ富山市内ノ米穀商四名ニ評價セシメタル結果ニヨレバ七月五日ノ粳玄米乙一石富山市平均相場參拾四圓ヲ標準トシ遠心力型參拾四圓四拾參錢ニ對シ輥軸型參拾參圓八拾七錢土白型參拾參圓五拾五錢ゴム白型參拾參圓拾六錢ニシテ順次安價ナルヲ示セリ。  
 五 碎 米

事 項	有 芒 種 粳		無 芒 種 粳	
	乾 燥 粳	乾 燥 不 良 粳	乾 燥 粳	乾 燥 不 良 粳
土 白 型	0.060	0.022	0.000	0.090
ゴ ム 白 型	0.033	0.030	0.026	0.033
輥 軸 型	0.008	0.006	0.008	0.008
遠 心 力 型	0.045	0.026	0.067	0.061

脱稈部ノ種類ニヨリテ碎米ノ成生量ニ差異アル事實ハ從來ト雖モ一般ニ認メラレ居タル所ナルモ其ノ程度ハ同一ノ脱稈部ニ於テモ粳ノ品種及乾燥程度ニヨリテ著シク其ノ成生量ニ差異アリ。即チ右表ニ示ス如ク無芒種(大場)ハ有芒種(銀坊主、石白)ニ比シ碎米ノ成生量多ク又同一品種ニアリテモ粳ノ乾

燥良好ナルモノハ乾燥不良ナルモノニ比シ其ノ量遙カニ多シ、又粳ノ品種及粳ノ乾燥程度ニ關係ナク脱稈部ノ種類ニヨリテ本年度ノ成績ヲ比較スルニ於テハ土白型ハ碎米ノ成生量最モ多ク遠心力型(玄米中ニ二ツ割以上ノ碎米存在ス)ゴム白型順次之レニ亞ギ輥軸型ハ極メテ其ノ量少キヲ示セリ。

六 二番摺粳ノ損傷程度  
 摺面材料ヲ異ニセル二番摺粳ノ損傷程度ハ土白型最モ甚ダシクゴム白型、輥軸型之レニ亞ギ遠心力型最モ少シ之レ玄米ノ胴摺レノ多少ト一致スル所ナリトス。  
 七 摺 卸 時 間  
 脱稈部ノ種類ヲ異ニスル各機ニ最モ適當セル使用法ニヨリ粳一定量ヲ摺卸シタル時間ヲ比較スレバ左

事 項	有 芒 種 粳		無 芒 種 粳	
	乾 燥 粳	乾 燥 不 良 粳	乾 燥 粳	乾 燥 不 良 粳
土 白 型	23.33	23.36	20.25	21.10
ゴ ム 白 型	26.33	23.53	26.38	22.30
輥 軸 型	27.23	36.14	20.34	37.40
遠 心 力 型	22.23	21.23	21.20	22.08



即チ粃ノ品種及ビ乾燥程度ニ關係ナク糶摺面材料ヲ異ニセルモノ、摺卸時間ハ遠心力型最モ短時間ニシテゴム白型、土白型之レニアギ輓軸型最モ長時間ヲ要スルモノトス。  
 之レヲ粃ノ品種ニヨリテ比較スルトキハ土白型及輓軸型ハ一定量糶ノ摺卸シ時間ハ無芒種ニ於テ短ク有芒種ニ於テ長時間ヲ要シ遠心力型及ビゴム白型ニ於テハ有芒種ニ於テ短ク無芒種ニ於テ長時間ヲ要スルモノ、如シ但シ其ノ差異ハ前者ノ如ク著シカラザルモノトス尙又糶ノ乾燥ノ良否ニヨリテ之レヲ比較スルニ於テハ土白型、輓軸型遠心力型ハ糶ノ品種ノ如何ニ拘ラズ乾燥良好ナルモノハ乾燥不良ナルモノニ比シ摺卸時間短クゴム白型ニアリテハ乾燥良好ナルモノハ乾燥不良ナルモノニ比シ長時間ヲ要シ前者ト反對ノ成績ヲ表シタリ。

八 電力消費量

脱稈部ノ種類ヲ異ニセル糶摺機ニ付キ一定量ノ糶ヲ摺卸スニ要スル電力消費量ヲ比較スレバ次ノ如シ。

事 項	有 芒 種		無 芒 種	
	乾燥糶	乾燥不良糶	乾燥糶	乾燥不良糶
土 白 型	〇・六五四 k.w.	〇・六七六	〇・七三〇	〇・七六九
ゴ ム 白 型	一・〇〇四	〇・九三六	一・三三三	〇・九九六
輓 軸 白 型	〇・八八四	〇・九二八	〇・九〇〇	一・二二八

遠 心 力 型	〇・五九六	〇・五七六	〇・六六六	〇・六四六
---------	-------	-------	-------	-------

右表ニ依レバ遠心力型ハ電力ノ消費量最モ少ク土白型輓軸型順次之レニアギゴム白型、最モ多ク又之ヲ糶ノ品種ニヨリテ比較スルトキハ各機共ニ有芒種ハ少ク無芒種ハ其ノ量遙カニ多キヲ示セリ。  
 更ニ糶ノ乾燥程度ニヨリテ見ルトキハ土白型、輓軸型ハ乾燥ノ良好ナルモノハ乾燥不良ナルモノニ比シ電力消費量少キモゴム白型、遠心力型ニアリテハ却テ其ノ量多キヲ示セリ。

九 一時間當リ摺卸玄米量

脱稈部ノ種類ヲ異ニスルモノニ付キ一時間當リノ玄米量ヲ比較スレバ左ノ如シ。

事 項	有 芒 種		無 芒 種	
	乾燥糶	乾燥不良糶	乾燥糶	乾燥不良糶
土 白 型	五三・八五九	四九・九三〇	六五・七五〇	五七・七三〇
ゴ ム 白 型	四三・六四六	三七・五六九	四一・七一〇	三四・八三〇
輓 軸 白 型	三七・七六一	三三・二二八	三六・六六〇	二四・九〇〇
遠 心 力 型	五一・一九一	四三・六七九	五五・九四〇	四三・八七〇

即チ一番摺ニ於テハ一時間當リノ摺卸玄米量ノ最モ多キハ土白型ニシテ遠心力型、ゴム白型順次相劣リ輓軸型其ノ最少ヲ示セリ。



又之ヲ粃ノ品種ニ依リテ比較スル時ハ土臼型及ビ遠心力型ハ有芒種ハ無芒種ニ比シ其ノ量少キモゴム臼型及輓軸型ハ其ノ量前者ニ比シ遙カニ多キヲ示セリ。  
 一〇 一時間一馬力當リ玄米量  
 一時間一馬力當リノ摺卸玄米量ヲ比較スレバ左ノ如シ。

事	項	有芒種		無芒種	
		乾燥粃	乾燥不良粃	乾燥粃	乾燥不良粃
土臼型	二五〇・五	三三・二三三	三三八・七五	二七四・九〇	
ゴム臼型	一八・八一	一五三・三四	一六〇・四三	一四・五二三	
輓軸型	一七九・八一	一五四・一八	一九二・九四	一六・六〇〇	
遠心力型	三三〇・二七	二八・二八〇	三六〇・九〇	二七四・一八	

脱稈ニ要スル馬力ノ大ナルハゴム臼型ニシテ輓軸型、土臼型之ニ亞ギ遠心力型最モ小ナル成績ヲ表セリ。

然ルニ遠心力型ハ一時間ノ摺卸玄米量比較的小ナルニモ拘ラズ平均一時間一馬力當リノ摺卸玄米量ハ各型中最高ヲ示シ土臼型、輓軸型順次相劣リゴム臼型最下位ニアリ。

茲ヲ以テ燃料消費或ハ電力消費量ノ單位價格ニ對スル功程ヨリ見ル時ハ粃ノ品種或ハ乾燥ノ良否ニ拘

ラズ遠心力型ヲ以テ最優位トス。

一一 玄米及ビ白米ノ容量

同一量ノ粃ヨリ生ズル玄米及ビ白米ノ量ハ脱稈部ノ種類ニヨリテ異ルコトナキヲ保セザルモ之レヲ正確ニ調査スルコトハ頗ル難事ニ屬ス。即チ供試粃ノ種類ガ同一系統ニシテ同一地味ニ同一栽培法ニヨリタルモノヲ供試セザレバ結局正確ナル結果ヲ得ル能ハザル性質ノモノナリ。故ニ本試験ノ如キ一般ノ農家が普通ニ栽培セル粃ヲ混淆シ供試セルモノニ於テハ各試験ノ結果ヲ比較シ大體ノ成績ヲ推定スルノ外ナシ。

粃拾貫目ヨリ生ズル玄米及白米量

事	項	有芒種		無芒種	
		乾燥粃	乾燥不良粃	乾燥粃	乾燥不良粃
土臼型	二一七・五	二一〇・三	二一八・六	二一六・〇	
ゴム臼型	二〇〇・一	一九四・〇	一九七・〇	一八六・〇	
輓軸型	二二二・一	二二一・〇	二〇四・三	二二五・〇	
遠心力型	一九二・三	一九九・五	一八七・九	一九七・四	
	二一七・〇	二一四・〇	二一四・〇	二〇五・九	
	一九九・七	一九八・九	一九八・五	一九七・八	
	二〇九・九	二〇五・八	二一七・一	二一八・一	
	二九四・五	一九〇・五	二〇五・〇	一八七・一	



右表ニヨレバ乾燥良好ナルモノハ玄米量ニ於テ各品種共土臼型概シテ其ノ量多ク輥軸型、遠心力型、ゴム臼型順次少キヲ示シ又白米量ニ於テハ遠心力型、輥軸型、土臼型ノ間ニハ殆ンド差異ナキモノ、如クゴム臼型ニ於テノミ其ノ量遙カニ少キヲ示セリ。

次ニ粃ノ乾燥不良ナルモノ、玄米量ニアリテハゴム臼型其ノ量最モ多ク土臼型、輥軸型、遠心力型ハ大差ナク順次之レニ亞グ又白米量ニ於テハゴム臼型最高ニシテ僅カノ差ヲ以テ輥軸型之レニ亞ギ土臼型遠心力型順次其ノ量少キモノ、如シ。

尙本試験ニ於テ土臼型、輥軸型、遠心力型ハ各品種共粃ノ乾燥良好ナルモノ、玄米及ビ白米量ハ然ラザルモノニ比シ何レモ多キヲ示シ從來行ヒタル各種ノ粃摺試験成績ト一致スル所ナルモ獨リゴム臼型ニアリテハ粃ノ乾燥不良ナルモノ、玄米及ビ白米ノ量然ラザルモノニ比シ遙カニ多キヲ表セルハ聊カ奇異ニ感ズル所ナリトス。

### 一二 白米ノ品質

白米ノ検査等級ニ於テハ玄米ニ於ケルガ如ク其ノ差甚ダシカラザルモ大體ニ於テ遠心力型ヲ以テ上位トシゴム臼型、輥軸型、土臼型順次相劣ルモノトス。

尙精米ヲ富山市内ノ米穀商四名ニ評價セシメタルニ七月五日ノ富山市平均相場移出三等一石參拾七圓五拾錢ヲ基準トシテ乾燥良好ナルモノニ於テハ遠心力型參拾七圓參拾七錢ゴム臼型參拾六圓八拾五錢

輥軸型參拾六圓六拾參錢土臼型參拾六圓五拾二錢ニ對シ乾燥不良ナルモノニアリテハ前者ト正反對ノ結果ヲ示セリ即チ土臼型ノ參拾七圓四拾錢ヲ最高トシ輥軸型(參拾七圓拾參錢)之レニ亞ギゴム臼型遠心力型(參拾七圓參錢)最モ安價ナリトス。

之レ本試験ニ於テハ乾燥ノ良否ニヨリ各々精米機ヲ通ル回数ヲ一定セルヲ以テ乾燥不良ナルモノニ於テハ土臼型ノ如キ粃摺當時ノ玄米ノ胴摺甚ダシキモノ程精白ノ進行速カニシテ所定ノ回数ニ達スレバ十分ナル精白ヲ完クシ得レ共遠心力型、ゴム臼型ノ如キ玄米表皮ニ何等ノ損傷ヲモ受ケ居ラザルモノニアリテハ精白ノ進行ハ前者ニ比シテ遅緩ナルヲ免レズ勢ヒ其ノ仕上白米ノ品質ニ於テ遙カニ劣レルモノト見做スヲ得ベシ。(但シ乾燥良好ナルモノニ於テハ此ノ關係ナキモノ、如シ)。

之レ本試験ニ於テ乾燥ノ不良ナルモノハ然ラザルモノニ比シ白米一石當リ價額ノ高價ナルハ此ノ事實ヲ證スルモノナリト信ズ。



5  
73

昭和二年十二月四日印刷  
昭和二年十二月六日發行

### 農林省農務局

東京市京橋區木挽町一丁目十四番地  
印刷者 石井精一郎

東京市京橋區木挽町一丁目十四番地  
印刷所 安信舎印刷所  
電話京橋二四九四番



5  
73

清同治十二年十二月六日  
西曆一千八百八十四年一月十四日

銀村省與德

德意志國  
安特衛普  
本行  
一  
一

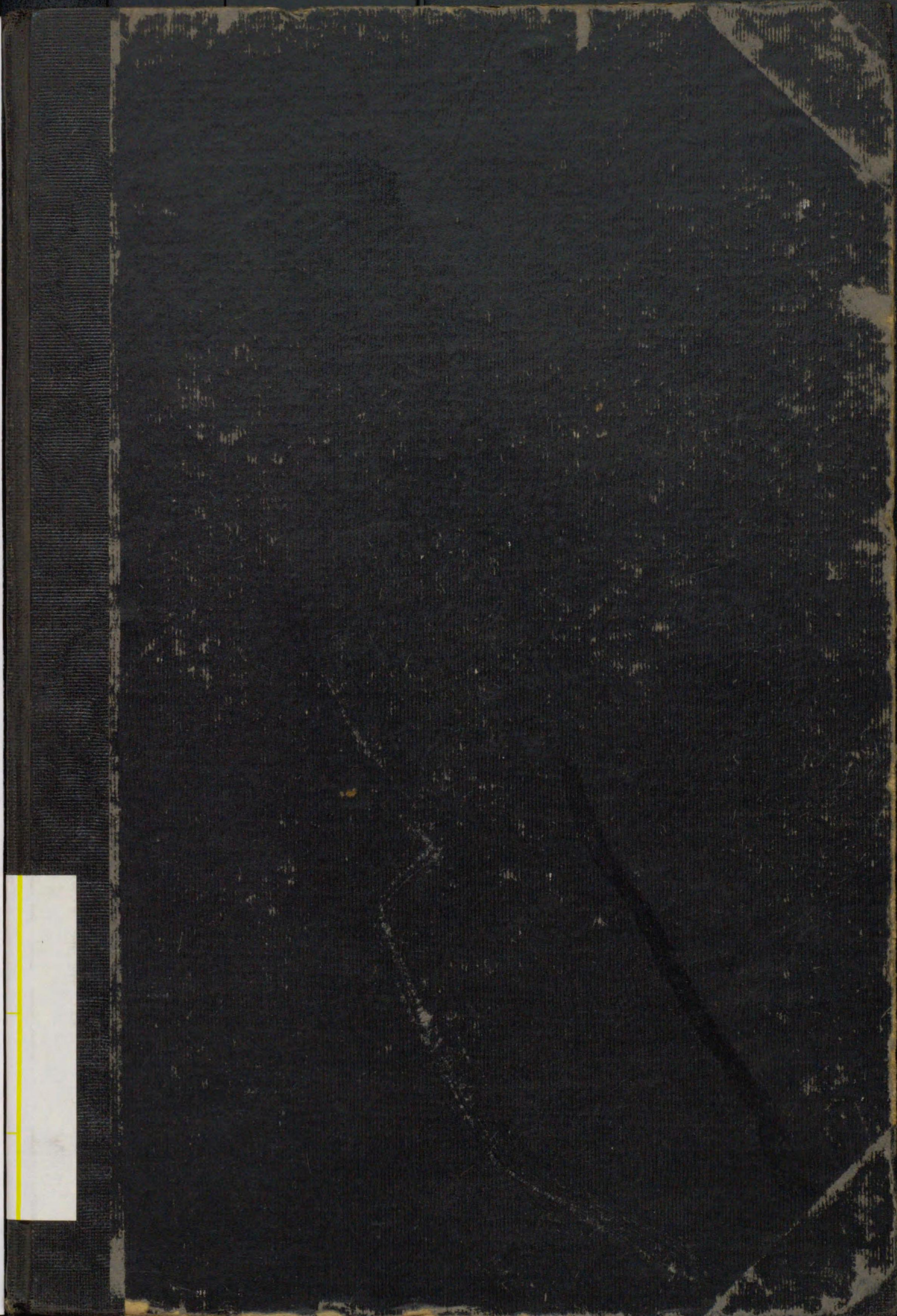


52  
75



524  
755





A small, light-colored rectangular label is attached to the spine area, partially overlapping the white page. The label is mostly blank, with a few faint, illegible markings or characters.